

鎌ヶ谷市総合基本計画～かまがやレインボープラン21～

# 後期基本計画第4次実施計画 (補正版) (案)

(平成31年度～平成32年度)



鎌 ヶ 谷 市



# 目 次

## 第1部 総論

1	計画の策定趣旨	1
2	計画の期間	1
3	計画の性格	1
4	計画の特徴	1
5	策定にあたっての市長方針	2
6	計画の対象	2
7	計画の基本的要件	2
8	「多額の経費を要する事業等」に充てる事業費の状況	4

## 第2部 分野別計画

第1章	分野別計画の策定にあたって	5
1	分野別計画の体系	5
2	分野別計画策定の考え方	5
3	多額の経費を要する事業等の考え方	6
4	分野別計画の見方	7

### 第2章 分野別計画（☆は重点政策）

■基本目標1	「健康で生きがいのある 福祉・学習都市」をめざして	8
☆政策1-1	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくれます	8
施策1	地域で支えあう福祉社会の形成	8
施策2	いきいきとした高齢社会の形成	11
施策3	健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	14
施策4	社会参加に向けた障がい者（児）福祉の推進	17
施策5	安心して暮らせる社会保障の充実	20
施策6	健康を支える保健・医療の充実	23
政策1-2	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	26
施策1	いきいきとした生涯学習の推進	26
施策2	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	29
施策3	芸術・文化の振興	31
☆政策1-3	人間性豊かな子どもの育成環境をつくれます	33
施策1	豊かな人間性を育む幼児教育の充実	33
施策2	生きる力を育てる義務教育の充実	35
施策3	児童・生徒の健康と安全の確保	37
施策4	高等教育の充実	39
施策5	青少年の健全育成	41

政策1-4	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	44
施策1	個性豊かなコミュニティづくり	44
施策2	市民生活を支える地域情報化の推進	46
施策3	男女共同参画社会づくり	48
施策4	世界と結びつく国際化の促進	50
■基本目標2	「自然と社会が調和する 環境共生都市」をめざして	52
政策2-1	人と自然にやさしい地域社会をつくります	52
施策1	環境保全の促進	52
施策2	循環型社会の構築	54
政策2-2	快適な暮らしの環境をつくります	57
施策1	良好な住宅の整備	57
施策2	快適な公園・緑地環境の整備	59
施策3	うるおいある河川・水路の整備	61
施策4	上・下水道の整備	63
施策5	環境衛生の充実	66
☆政策2-3	安全に暮らせる社会システムをつくります	69
施策1	交通安全の推進	69
施策2	防犯対策の促進	72
施策3	防災対策の強化	74
施策4	消防力の強化	77
■基本目標3	「躍動感と魅力あふれる 交流拠点都市」をめざして	80
☆政策3-1	魅力あふれるまちづくりを進めます	80
施策1	広域交流拠点の整備	80
施策2	鉄道新線開業等に対応した新市街地の整備	82
施策3	質の高い既成市街地の整備	83
施策4	鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり	85
政策3-2	都市活動を支える交通網整備を進めます	87
施策1	安全でゆとりある道路の整備	87
施策2	利便性の高い公共交通体系の充実	90
政策3-3	活力ある産業を育成します	92
施策1	都市農業の育成	92
施策2	魅力ある商業の育成	95
施策3	活力ある工業の育成	97
施策4	安心できる消費生活の推進	100

■計画の実現のために・・・・・・・・・・・・・・・・	102
政策4-1 計画の実現のために・・・・・・・・	102
施策1 地方分権と市民参加の推進・・・・・・・・	102
施策2 効率的で健全な行財政運営の推進・・・・・・・・	105
施策3 広域行政の推進・・・・・・・・	110

参考資料（策定にあたっての市長方針）・・・・・・・・	112
----------------------------	-----

**第4次実施計画(補正版) 別冊(多額の経費を要する事業等の詳細)**



# 第1部 総論



## 第1 計画の策定趣旨

「鎌ケ谷市総合基本計画～かまがやレインボープラン21～」は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層により構成しています。

「後期基本計画第4次実施計画（補正版）」は、「基本構想」に掲げる目指すべき都市像「緑とふれあいのあるふるさと 鎌ケ谷」の実現に向けて、「後期基本計画」で示した各施策の目的（めざす姿）を達成するための手段（事務事業）を明確にし、総合的・計画的なまちづくりを進めるため、中期的な視野に立ち策定するものです。

## 第2 計画の期間

本計画の期間は、平成31年度（2019年度）から平成32年度（2020年度）までの2年間とします。

## 第3 計画の性格

- (1) 本計画は、後期基本計画で示した施策の体系に基づき、今後2年間に実施すべき施策・事務事業の年次計画を定めるものであり、計画期間における各年度の行政運営及び予算編成の指針となります。
- (2) 本計画は、計画の適切な執行に期するため、各事務事業の進捗状況と「後期基本計画」に掲げた「施策の成果目標値」の達成状況等を把握するなどの進行管理を行います。

## 第4 計画の特徴

本計画の策定にあたっては、特に次の事項に配慮しています。

- (1) 「前期基本計画」における「実施計画」では、事業費500万円以上の事務事業を「実施計画事業」としてきましたが、本計画では事業費の多寡に関わらず、すべての施策について、目的（めざす姿）達成のための手段（事務事業）を明記しました。
- (2) 「協働で達成する計画」とするために、市民・事業者が役割を担うために行政がとる方策についても明記しました。
- (3) 「目的を達成するために有効な手段の選択」という視点で、スクラップ&ビルドを行い、「目的達成のため、計画期間中に優先的に実施する」とした事務事業を掲げました。
- (4) 「後期基本計画」に掲げる4つの重点政策「福祉」「教育」「安全・安心」「魅力あるまちづくり」に配慮しました。
- (5) 事務事業の選択にあたって、政策・施策・事務事業の事前評価を行いました。
- (6) 後期基本計画に掲げた「施策の成果目標値」の平成32年度目標値の達成に配慮しました。

## 第5 策定にあたっての市長方針

後期基本計画では、4つの重点政策（福祉、教育、安全・安心、魅力あるまちづくり）を定め、「選択と集中」による行政運営を基本として、まちづくりを進めていくこととしていますが、後期基本計画第4次実施計画（補正版）では、以下の3つの分野を積極的に進めるため、市長方針を定め、策定することとしました。

- ①未来に向けてさらなる発展につなげる街づくり
- ②すべての市民が暮らしやすさを実感できる街づくり
- ③産業が盛んで文化・スポーツ・緑を楽しめる街づくり

※策定にあたっての市長方針については、本書112ページ[参考資料](#)をご参照ください。

## 第6 計画の対象

- (1)本計画の対象とする事業は、「後期基本計画」で掲げた施策の目的（めざす姿）達成のため、市が行うすべての事務事業（予算計上を必要としない事務事業、国・県・民間等が主体となり本市が事業費を負担する事務事業等を含む）とします。
- (2)「前期基本計画」における「実施計画」で対象事業としてきた事業費500万円以上の事務事業については、「多額の経費を要する事業等」として、特に明記します。

## 第7 計画の基本的要件

- (1)人口の見通し

人口は、平成27年12月に策定した「鎌ヶ谷市人口ビジョン」に明記されている「国立社会保障・人口問題研究所準拠に基づく市独自推計」のとおりとします。

### 【国立社会保障・人口問題研究所準拠に基づく市独自推計】

※国立社会保障・人口問題研究所平成25年3月推計に準拠し、平成27年4月1日現在の常住人口の数値を用いた推計

	平成32年（2020年）		平成52年（2040年）		平成72年（2060年）	
		構成比		構成比		構成比
総人口（人）	109,112	100%	102,112	100%	89,280	100%
15歳未満	13,223	12.1%	10,675	10.5%	8,602	9.6%
15～64歳	64,482	59.1%	56,150	55.0%	47,097	52.8%
65歳以上	31,407	28.8%	35,287	34.5%	33,581	37.6%

【参考：鎌ヶ谷市人口ビジョン推計】

※市が「鎌ヶ谷市人口ビジョン」に掲げた「目指すべき将来の方向」に沿って対策を進めた場合の推計

	平成32年(2020年)		平成52年(2040年)		平成72年(2060年)	
		構成比		構成比		構成比
総人口(人)	110,786	100%	109,532	100%	106,900	100%
15歳未満	13,978	12.6%	15,607	14.3%	16,082	15.0%
15～64歳	65,071	58.7%	58,304	53.2%	56,932	53.3%
65歳以上	31,737	28.7%	35,621	32.5%	33,886	31.7%

(2) 財政の見通し

平成31年度から平成32年度までにおける財政の見通しについては、後期基本計画第4次実施計画(補正版)を踏まえて策定した「中期財政見通し」に基づき、676億9,704万6千円と推計しています。

この「中期財政見通し」では、行財政改革を継続したことにより確保した各種基金を活用することによって、次期総合基本計画の計画期間となる平成34年度までは財源不足を生じさせないで財政運営ができる状況にあります。

しかし、各年度の予算編成の中で、従来以上の歳入確保・歳出削減の取組みを行わずに、平成32年度と同様の普通建設事業費を実施しようとした場合、平成35年度に約1億4千万円の財源の確保が必要となる見込みとなっております。

今後とも、将来に向けて持続可能な行財政運営を確立するためには、行財政改革推進プランを着実に実行して財源確保を図り、限られた財源を今まで以上に選択と集中させ、本市の財政基盤に見合った運営を堅持していく必要があります。

図表 中期財政見通し(平成31～32年度)

歳入区分		推計額	歳出区分		推計額
市 税		27,315,654	義務的経費	人件費	13,372,515
地方交付税		6,555,400		扶助費	17,620,192
国県支出金		14,622,858		公債費	6,800,727
市 債		5,423,600	普通建設事業費		5,292,443
そ の 他		13,779,534	その他経常的経費		24,611,169
合 計		67,697,046	合 計		67,697,046

単位：千円

## 第8 「多額の経費を要する事業等」に充てる事業費の状況

施策の体系	事業費（単位：千円）			構成比
	31年度	32年度	合計	
1 「健康で生きがいのある 福祉・学習都市」をめざして	1,022,597	1,067,757	2,090,354	28.0%
2 「自然と社会が調和する 環境共生都市」をめざして	1,646,792	1,671,772	3,318,564	44.4%
3 「躍動感と魅力あふれる 交流拠点都市」をめざして	1,063,564	777,968	1,841,532	24.6%
4 計画の実現のために	70,660	155,940	226,600	3.0%
総合計	3,803,613	3,673,437	7,477,050	100.0%

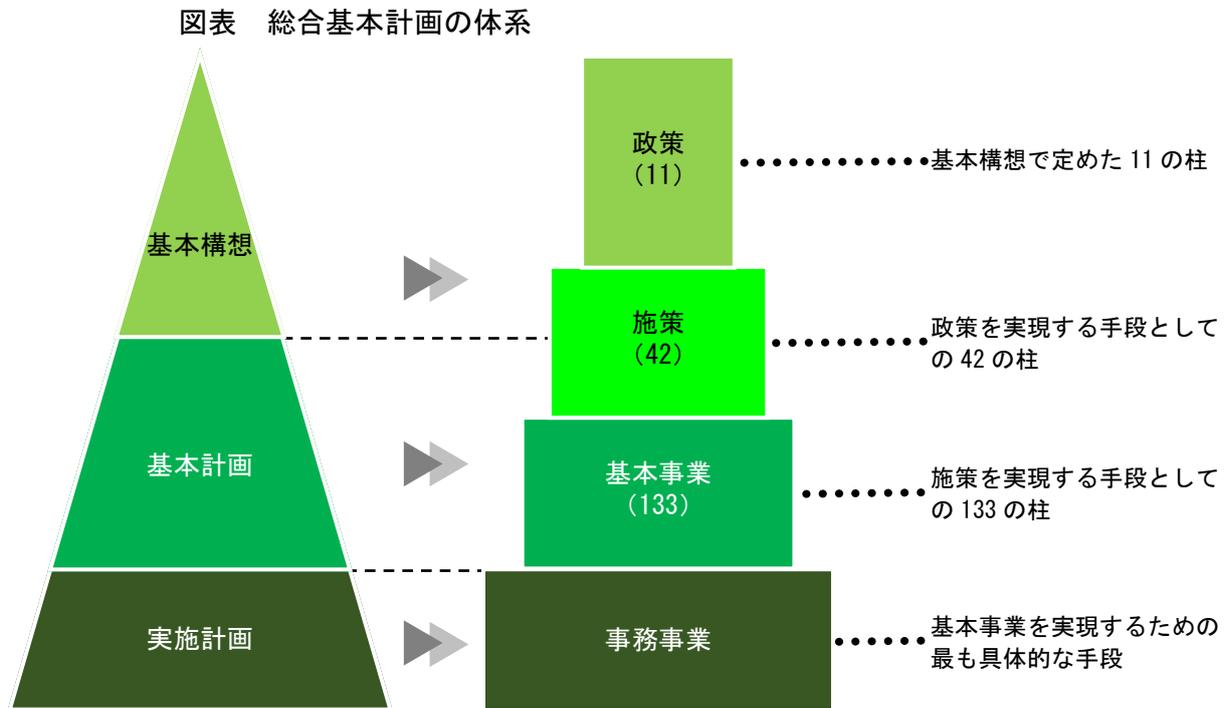
## 第2部 分野別計画



# 第1章 分野別計画の策定にあたって

## 1 分野別計画の体系

分野別計画では、総合基本計画を次のように体系化しています。



## 2 分野別計画策定の考え方

分野別計画では、「後期基本計画」で定めた「市民」「事業者」の役割を果たしやすくするよう行政がとる方策を明記するとともに、「施策のめざす姿」を実現するための手段である「基本事業」ごとに以下の考え方で策定しています。

- (1) 「基本事業のねらい」の達成度を測るための「基本事業の成果目標値」は、原則として具体的な数値で目標値を掲げました。(一部具体的な数値を示すことが難しいものは「増加」「減少」など方向を示しています。)

(2)「基本事業」を実現するための手段（事務事業）については、計画期間の2年間で考えられる手段（事務事業）すべての中から、目的を達成するための優先度が高い上位3分の1（原則）の手段（事務事業）を「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容」として事務事業名と内容を記載しました。（この段階での財源の明記はしてありません。）

※目的を達成するための手段（事務事業）が全部で6つの場合は、上位3分の1にあたる2つの手段（事務事業）を記載しています。

### 3 多額の経費を要する事業等の考え方

(1)「基本事業のねらい（めざす姿）を実現するための主な内容」のうち、事業費500万円以上の事業については、「多額の経費を要する事業等」として財源を特に明記しました。計上することとしたもののうち、優先度が高い方からA→B→Cとしています。

(2)多額の経費を要する事業等のうち、策定過程で計上を見送った事業についても事業名を記載しました。財政状況に応じて、この項目から事業を選択する可能性があります。（この項目に記載された事務事業の優先度は、上記「C」よりも低い扱いとなります。）

(3)選定については、「重点政策」「市民ニーズ」等の9項目で評価を行い、事業の優先度を判断した上で、将来的な財政見通しとなる「中期財政見通し」を踏まえ、事業を選定しております。

### 3 分野別計画の見方

「後期基本計画」で定めた鎌ヶ谷市のめざすまちの姿を実現するための柱となる「政策」「施策」の名称です。

重点政策に属するものは【重点政策】と明記しています。

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】  
 施策 1-1-1 地域で支えあう福祉社会の形成⇒「後期基本計画」P35

#### ■■施策のねらい（めざす姿）■■

すべての市民が、地域で支えあい、助けあいながら生活しています。

「後期基本計画」で定めた、この施策で、鎌ヶ谷市がめざす将来の姿です。

#### ■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
福祉環境満足度（市民意識調査）	%	15.2 (25年度)	14.0
ボランティア登録団体数	人	1,166	1,600

「後期基本計画」で定めた施策の達成度を測る指標です。

#### ■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動に参加し、自己実現や自己啓発に取り組みます。</li> <li>ボランティア活動に積極的に参加します。</li> <li>地域での支えあいに積極的に取り組みます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の一員として、地域活動に参加します。</li> <li>地域の生活課題の解決に、地域と協働して取り組みます。</li> <li>地域の支えあいネットワーク形成に参加します。</li> </ul>	

「後期基本計画」で定めた「市民」「事業者」の役割です。

#### ■■「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの構築や避難行動要支援者避難支援制度などを通して、地域の支え合い活動を始めるきっかけをつくります。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞配達、郵便配達、宅配などの事業者や商店街など、業務活動の中で日常レベルでの見守りを行い、異常を発見した場合には市へ連絡するなどの体制を整えており、この仕組みをさらに強固にしていきます。</li> <li>事業者が建築する建物や店舗に対して、車いす使用者駐車スペースの設置や入口の段差解消を要望するなど、誰もが安心して暮らせるまちづくりに導いていきます。</li> </ul>	

「後期基本計画」で定めた「市民」「事業者」の役割を果たしやすくするよう行政がこの4年間で取る方策です。

#### 基本事業（4） ひとにやさしい福祉のまちづくり

「後期基本計画」で定めた施策を実現するための「基本事業」の名称です。

この基本事業がめざす鎌ヶ谷市の将来の姿です。

##### (4)-①基本事業のねらい（めざす姿）

バリアフリー化が推進され、誰もが安全・安心に暮らしています。

##### (4)-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
バリアフリー化に関連する事業数	件	11	11

「基本事業のねらい」の達成度を測る指標（ものさし）です。

##### (4)-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
総合福祉保健センター設備機器改修事業	総合福祉保健センターの設備機器の改修（中央監視盤）する。

基本事業を実現するための手段（事務事業）です。計画期間中に行う事務事業のうち目的達成のための優先度が高いものを掲げています。

##### (4)-④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.1	総合福祉保健センター設備機器改修事業	1,815	1,815	0

上欄に記載した「主な内容」の中から総事業費500万円以上の事業を掲げています。財源の詳細は、別冊「多額の経費を要する事業等の詳細」に記載しています。（金額単位：千円）

##### (4)-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

総合福祉保健センター案内表示作製設置委託

「多額の経費を要する事業等」のうち、策定過程で計上を見送った事業名を記載しています。※該当事業が無い場合には、その旨を記載します。

## 第2章 分野別計画

基本目標1 「健康で生きがいのある 福祉・学習都市」をめざして

政策1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策1-1-1 地域で支えあう福祉社会の形成⇒⇒「後期基本計画」P35

### ■■施策のねらい（めざす姿）■■

すべての市民が、地域で支えあい、助けあいながら生活しています。

### ■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
福祉環境満足度（市民意識調査）	%	15.2 (25年度)	14.0
ボランティア登録団体 会員数	人	1,166	1,600

### ■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に参加し、自己実現や自己啓発に取り組みます。</li> <li>・ボランティア活動に積極的に参加します。</li> <li>・地域での支えあいに積極的に取り組みます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の一員として、地域活動に参加します。</li> <li>・地域の生活課題の解決に、地域と協働して取り組みます。</li> <li>・地域の支えあいネットワーク形成に参加します。</li> </ul>	

### ■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの構築や避難行動要支援者避難支援制度などを通して、地域の支え合い活動を始めるきっかけをつくります。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞配達、郵便配達、宅配などの事業者や商店街など、業務活動の中で日常レベルでの見守りを行い、異常を発見した場合には市へ連絡するなどの体制を整えており、この仕組みをさらに強固にしていきます。</li> <li>・事業者が建築する建物や店舗に対して、車いす使用者駐車スペースの設置や入口の段差解消を要望するなど、誰もが安心して暮らせるまちづくりに導いていきます。</li> </ul>	

## 基本事業（1） パートナーシップによる地域福祉活動の推進

### （1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が様々な機会において地域福祉活動に積極的に参加しています。

### （1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
ボランティア登録団体 会員数	人	1,166	1,600
ボランティアでの実施 サービスメニュー数	件	44	60

### （1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
避難行動要支援者避難支援制度の推進	支援が必要なご本人やご家族、自治会や地域の方々と話し合いながら一人ひとりの避難計画（個別支援プラン）を作成する。
社会福祉協議会の活動支援	市社会福祉協議会に補助金を交付し、市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の地域福祉活動を支援する。
民生委員児童委員協議会の活動支援	民生委員児童委員協議会に補助金を交付し、民生委員児童委員及び主任児童委員の活動を支援するとともに、平成31年12月の一斉改選に向けて準備を進める。
ボランティアセンターの機能強化	ボランティアセンターが保有するボランティア情報の発信と相談体制の強化を図る。

### （1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

### （1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 総合的な健康福祉サービス利用の促進**

**(2)－①基本事業のねらい（めざす姿）**

市民が健康福祉に関する情報を入手でき、ニーズに応じたサービスを利用しています。

**(2)－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市ホームページ掲載の健康福祉情報	件	4	4
健康福祉に関する啓発メニュー数	件	5	4

**(2)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
各分野の相談窓口の周知	地域包括支援センター（高齢者福祉、介護）、基幹相談支援センター（障がい福祉）、子育て世代包括支援センター（妊娠出産、幼児保育、子育て等）などの相談窓口や市ホームページ等を活用して、きめ細かなサービスを提供する。
健康福祉情報サイト「健康ふくしネットかまがや」の発信	いつでも誰でも健康福祉に関する情報が見られるよう、情報発信をする。

**(2)－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 地域福祉推進のネットワーク化**

**(3)－①基本事業のねらい（めざす姿）**

地域福祉に関する市民・事業者・行政の役割が明確化され、連携が強化されています。

**(3)－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
地域ネットワーク組織数	組織	0	1

**(3)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
次期地域福祉計画の策定	様々な課題を抱える住民が、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民同士で支え合う「地域共生社会」を目指して、次期地域福祉計画（平成33～平成38年度）を策定する。

**(3)－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

基本事業（４） ひとにやさしい福祉のまちづくり

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

バリアフリー化が推進され、誰もが安全・安心に暮らしています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
バリアフリー化に関連する事業数	件	11	11

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
総合福祉保健センター設備機器改修事業	総合福祉保健センターの設備機器を改修（中央監視盤）する。

（４）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.1	総合福祉保健センター設備機器改修事業	1,815	1,815	0

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

総合福祉保健センター案内表示作製設置委託

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-2 いきいきとした高齢社会の形成⇒⇒「後期基本計画」P37

■ ■ 施策のねらい（めざす姿） ■ ■

高齢者が生きがいをもち、その人らしく暮らしています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
65歳以上要介護認定率	%	14.4	15.5
趣味や習い事などをして いる高齢者の割合 (高齢者アンケート)	%	73.2 (28年度)	増加

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症に対する正しい知識を習得します。</li> <li>自らの知識や技能を生かしながら社会参加をします。</li> <li>自ら進んで健康を管理します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切なサービスの提供を行います。</li> <li>新たな事業展開を検討します。（シルバー人材センター）</li> </ul>	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの構築を推進します。</li> <li>認知症見守りサポーター養成事業を実施します。</li> <li>要介護状態にならないように、または現状を維持するため、介護予防事業を実施します。</li> <li>シルバー人材センターについて周知し、会員の増加を促進します。</li> <li>各種レク大会・スポーツ大会への参加を促進します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの構築を推進します。</li> <li>介護予防・日常生活支援総合事業のサービスを充実します。</li> <li>シルバー人材センターの周知や運営費の補助等により支援します。</li> </ul>	

基本事業（1） 活力ある高齢者の活動支援

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、健康で生きがいをもって暮らしています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
「健康である」と答えた 高齢者割合（高齢者 アンケート）	%	67.5 (28年度)	増加
シルバー人材センター 会員数	人	491	700
シルバー人材センター 就業延べ人数	人	68,716	70,000

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
老人憩の家設置事業	市民の協力により一般家庭の居室等を老人憩の家として指定し、心身の健康の増進と交流を図る。
敬老事業補助金交付事業	自治会等が実施する敬老事業に対し補助を行う。
シルバー人材センターへの支援	高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するシルバー人材センターの運営費に対し補助を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 介護予防の推進**

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、元気なうちから現状を維持またはアップさせるために自分自身と向き合っています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
一般介護予防事業参加者数	人	862	増加

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
一般介護予防事業（ちょ筋教室）	運動機能向上、栄養改善、口腔ケア等の講座を実施し、介護予防を行う。
一般介護予防事業（柔体操）	柔道整復師による介護予防事業を行う。
談話室事業	閉じこもりがちな人が身近な場所に集まり交流する。

(2) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 介護サービスの充実**

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、住み慣れた地域での生活を可能な限り継続できています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
地域密着型サービス定員総数	人	108	120

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
緊急通報システム事業	ひとり暮らしの高齢者が急に具合が悪くなった時に、通報により緊急要員・協力員がかけつける。
特別養護老人ホーム整備事業	特別養護老人ホームの整備・運営事業者を公募し、介護サービス事業予定者選考委員会で審議の上、事業者を決定する。
第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	高齢者の保健福祉、介護保険事業の施策を定めた計画を策定する。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（４） 地域ケアシステムの推進**

**（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

地域での支え合いにより、高齢者が安心して暮らしています。認知症になっても地域で共に支えあって安心して暮らせます。  
また、福祉サービス利用者は、多様な相談ができています。

**（４）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
地域包括支援センター整備数	箇所	3	3
認知症サポーター養成講座受講者数	人	8,148	5,000

**（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
在宅医療・介護連携推進事業	多職種の連携のため、研修の実施や相談室の活用を図る。
地域包括支援センター運営委託	総合相談など地域の高齢者への総合的な支援を行う。
認知症見守りサポーター事業	見守りサポーターを養成し、高齢者や家族の支援を行う。
生活支援体制整備事業委託	社会福祉協議会・社会福祉法人・NPO・ボランティア等と連携しながら多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を図る。

**（１）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-3 健やかに子どもが育つ児童福祉の推進⇒⇒「後期基本計画」P39

■■施策のねらい（めざす姿）■■

地域ぐるみで子育てできる環境の中で、子どもが健やかに育っています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
合計特殊出生率	—	1.28 (28年)	1.34
保育所待機児童数	人	0	0
就学前人口に対する保育所入所率	%	26.6	18.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・地域での支えあいに積極的に取り組みます。	
事業者	・労働条件の整備を進め、子育てしやすい職場環境づくりに努めます。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	・子育てサポーターの育成（講座の開催等）をする。 ・子育て支援ボランティアの育成及び子育て支援ボランティアを活用した事業を拡充する。	
事業者	・ワーク・ライフ・バランスの実現方法など、関連情報を提供する。 ・関連セミナー等を開催する。	

基本事業（1）たくましく生きる力の育成

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

子どもの人権が尊重され、生きる力・心が育っています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
家庭児童相談室相談受付件数	件	9,406	8,000
個別支援会議回数	回	75	90

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
子ども家庭支援拠点整備事業	子どもと家庭の相談を受け、家庭での子育てを円滑に行うことができるように、関係機関と連携して支援をする拠点を整備する。
家庭児童相談システムリニューアル事業	児童情報やケース記録の管理、統計情報や業務帳票出力等、家族や児童に関する業務支援システムをリニューアルする。
家庭児童相談事業	家庭における児童の養育などの相談に対応する。
養育支援訪問事業	養育支援が特に必要な家庭を訪問し、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための支援を行うとともに、養育に関する相談指導を行う。
子育て短期支援事業	一時的に児童の養育が困難になった家庭に対し、児童の安全のため、民間児童養護施設と契約し、児童を短期間預かる。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） すべての子育て家庭への支援

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

子どもを産み育てる家庭が安心して子育てを行っています。保護・援助を必要とする家庭には特に支援が行われています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
保育所定員数	人	1,428	1,545
放課後児童クラブ定員数	人	631	721

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
放課後児童クラブ整備・改修事業	放課後児童健全育成事業の施設及び運営に関する基準（条例）に基づき、放課後児童クラブ施設の整備及び改修を行う。
民間保育所整備助成事業	待機児童対策として、平成30年度に整備した民間保育事業者に対して施設運営費を助成する。
地域型保育整備助成事業	待機児童対策として、平成31年度に整備した小規模保育事業者に対して施設運営費を助成する。
保育園改修事業	公立保育園の長寿命化及び適正な管理を図るため、施設の改修を行う。
子ども医療費助成事業	平成26年4月診療分からの通院診療分について、医療費の助成対象を小学校3年生から中学校3年生までに拡大した事業を継続する。

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.1	保育園改修事業	107,837	74,203	33,634
P.2	放課後児童クラブ整備・改修事業	129,111	122,111	7,000

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（3） 子育て親育ての地域での支え合い

（3）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域全体で子育てを行い、子育て家庭を見守っています。

（3）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
ファミリー・サポート センター利用者数	人	2,679	2,300
児童センター利用者数	人	107,405	130,000

（3）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
(仮称) 東部地区児童 センター設置事業	児童センターの未整備となる東部地区に新たに児童センターを整備するため、測量・不動産鑑定、用地購入及び基本設計を行う。
児童センター管理運営 事業	各児童センターにおいて、児童の健全な遊びの提供、子育て家庭同士の交流、子育てを支援する地域の人材を確保する。
児童遊園改修事業	27年度に実施した遊具点検結果に基づき、遊具の更新等を行う。
ファミリー・サポー ト・センター事業	様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行う。

（3）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.2	(仮称) 東部地区児童セン ター設置事業	196,820	1,020	195,800
P.3	児童遊園改修事業	19,600	8,000	11,600

（3）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

児童センターリニューアル事業

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-4 社会参加に向けた障がい者（児）福祉の推進⇒⇒「後期基本計画」P41

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

障がい者（児）が、住み慣れた家庭や地域で安心して自立した生活をしています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
障がい者手帳所持者のうち施設入所者を除いた割合	%	99.0	98.7
訪問系サービス利用者数	人	121	110
日中系サービス利用者数	人	367	390

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者（児）に対する理解と協力を進めます。</li> <li>障がいが進まないように、予防や健康管理に努めます。</li> <li>防犯・防災体制の向上を図るため、地域協力に努めます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズを把握します。</li> <li>提供するサービスの質の向上に努めます。</li> <li>社会環境の変化に対応したサービスを提供します。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいに関する理解促進を進めるための講演会等やチラシなどの活用により、啓発活動等を行います。</li> <li>障がい者の社会参加の促進を図るため、レクリエーション、スポーツ、講座の各種事業を実施します。</li> <li>災害時に避難が困難な障がい者が安心して避難できるよう、避難行動要支援者避難支援制度の周知をしていきます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者地域自立支援協議会等を活用し、関係機関の連携を構築し、本市における課題の共有・検討を行います。</li> <li>避難行動要支援者避難支援制度の避難支援等関係者として協力していただく事業所に制度の周知をしていきます。</li> </ul>	

基本事業（１） 自立した生活を支えるしくみづくり

（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）

障がい者（児）自身が、主体的な選択と決定により各種サービスを利用できています。

（１）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
手話通訳・ガイドヘルパー派遣数	件	266	215
地域活動支援センター利用者数	人	35	25
介護給付・訓練等給付費の受給者数	人	583	600

（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
友和園空調設備改修事業	老朽化した空調設備機器の更新を行う。
介護・訓練等給付費	障がい者に対する日常生活上の介護給付や訓練等の給付を継続する。
基幹相談支援センター運営業務委託	障がいを持つ方等の相談に対し、専門機関等と連携して総合的な相談支援を行う。
地域活動支援センターⅢ型施設運営助成	創作活動や生産活動の機会を提供する地域活動支援センターⅢ型施設への助成を継続する。
障がい者計画策定事業	平成23年度に策定した「障がい者計画」が平成32年度に計画期間が終了することから、計画を改訂する。

（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.3	友和園空調設備改修事業	9,440	900	8,540

（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 自己実現や社会参加がしやすい環境づくり

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

障がいの早期発見と療育体制の強化により、障がい者（児）が自己の能力・可能性を高め、自立を目指しています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
身障センター講座参加者数	人	89	100
親子教室参加者数	人	44	40
のびのびルーム利用者数	人	45	48

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
児童発達支援事業	心身の発達に心配のある乳幼児に対し、一人ひとりの状況に合わせて生活習慣の自立、社会性、身体機能の発達を促すよう、通所による支援を行う。
療育支援事業	乳幼児の発達状況、問題、特徴等を総合的に捉え、安心して子育てが出来るよう、各専門職が療育支援、施設支援を行う。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 安心して暮らせる環境づくり**

**（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

障がい者（児）が必要な情報を得られています。  
また、災害時等における避難・救助体制や権利擁護の仕組みが構築されています。

**（３）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
障がい者の防災訓練参加者数	人	12	48
重度心身障がい者（児）医療費助成額	百万円	168	178

**（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
重度心身障がい者（児）医療費助成	重度の知的・身体障がい者への医療費助成を行う。
精神障がい者医療費助成	精神障がい者の入院・通院への医療費給付、助成を行う。
障がい者（児）に特化した福祉避難所の整備	避難所での生活において特別な配慮を要する障がい者を受け入れるため、福祉避難所を整備する。

**（３）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（４） 共生社会のための基盤づくり**

**（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

障がい者（児）に対する理解が深まり、誰もが地域で支えあいながら生活をしています。

**（４）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
啓発事業参加者数	人	2,159	2,500

**（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
障害者差別解消法の周知・啓発	障がい者（児）への理解を深めるため、周知、啓発を行う。

**（４）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】  
 施策 1-1-5 安心して暮らせる社会保障の充実⇒⇒「後期基本計画」P43

■ ■ 施策のねらい(めざす姿) ■ ■

すべての市民が必要な社会保障制度を活用し、安心して暮らしています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
※この施策は国の制度に基づいて推進していくため、国が行う施策の影響が大きく、市としての成果目標値は設定しません。			

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度を正しく理解し、必要な制度を活用しています。</li> <li>・自立した生活に向けた意欲をもち、努力しています。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の機会を創出します。</li> </ul>	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度を正しく活用してもらうため、広報・ホームページ等により制度の周知を図ります。</li> <li>・生活困窮者自立支援制度を利用し、自立相談支援事業、就労準備支援事業等の利用を促進します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労の機会を広げるよう、シルバー人材センター等と連携の強化を図ります。</li> </ul>	

基本事業(1) 保険制度の適正な運営

(1) -①基本事業のねらい(めざす姿)

社会保障における保険制度が適正に運営されています。  
 また、市民は保険制度を理解し、適正な負担をし、適正な給付を受けています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
国民健康保険一人当たりの医療費	円	323,332	390,000
国民健康保険料の現年徴収率	%	91.31	91.59

(1) -③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
医療に対する国民健康保険の負担	国民健康保険加入者が医療機関の窓口で被保険者証を提示することで、一部負担金を支払い、残りの費用は保険者が負担する。
医療費が高額となった時の高額療養費の支給	医療機関で支払った負担額が自己負担額限度額を超えた場合、その超えた分を支給する。
いったん全額を自己負担した時の療養費の支給	医療機関で被保険者証を持たずに診療を受けたり、医師が治療上必要と認めた補装具等を購入した場合、療養費を支給する。
保険料の賦課・徴収	加入者の資格や所得を適正管理し、国民健康保険料を算定する。賦課した保険料を徴収する。
国民健康保険事業の運営に関する協議会の開催	国民健康保険の運営に関する重要事項を審議してもらう。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 保健事業の充実**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

特定健康診査を受診することにより、生活習慣病に注意して生活でき、医療費の増加が抑制されています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
特定健康診査受診率 (法定報告値)	%	36.5 (28年度)	65.0
特定保健指導利用率 (法定報告値)	%	30.2 (28年度)	50.0

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
特定健康診査受診率向上対策事業	糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健診の受診率向上を目指す。
特定保健指導実施率向上対策事業	特定健診結果を理解し、自らの生活習慣を振り返り、生活習慣を改善するための行動目標を設定、実践できるよう、特定保健指導実施率向上を目指す。
重症化予防対策事業	特定健康診査受診者に対し、要医療者への受診勧奨や血圧・血糖ハイリスク者への保健指導により重症化を予防する。
糖尿病性腎症重症化予防対策事業	2型糖尿病で、特定健康診査受診者又は医療機関からの紹介による治療者で一定の基準に該当する者へ保健指導を行い、糖尿病等の重症化を予防する。

**(2) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 年金制度の周知**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

誰もが年金制度を理解し、保険料を納め、適正な年金を受給しています。若年層についても年金への関心が深まっています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
資格異動届数 (任意加入者数)	人	200	282

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
窓口相談業務の充実	相談に際し、年金制度についてわかりやすいパンフレットを配布する。
年金制度の周知	市の広報紙で任意加入制度について、ツイッターで若年層へ年金制度の周知を図る。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

基本事業（４） 生活保護と自立生活の支援

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

生活困窮者が生活保護法に基づいた生活を送ることができています。  
また、自立した生活に移行できています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
就労等による生活保護 廃止件数	件	29	現状維持
生活困窮者満足度アン ケート	%	62.5	現状維持

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
生活困窮者自立支援事 業	生活困窮者に対する相談窓口を設置し包括的な支援を行う。
被保護者就労支援事業	ハローワークと連携し、受給者の自立を支援するため、就労支援プログラム等の自立を図る。
適正な生活保護制度の 活用	公的年金、各種手当、障害手帳の取得、自立支援医療、リバースモーゲージの活用を促す。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-6 健康を支える保健・医療の充実⇒⇒「後期基本計画」P45

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

すべての市民が生涯にわたって、健康で明るく、元気に暮らしています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
平均寿命（男）	歳	80.9 (27年)	延伸
平均寿命（女）	歳	87.2 (27年)	延伸
自分の健康に満足している率 (市民健康意識調査)	%	55.4 (25年度)	55.0
乳児死亡率（出生千 対）	人	0 (29年)	減少

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に健（検）診を受診します。精密検査が必要となった場合は、早急に医療機関を受診します。</li> <li>・健康に対する正しい知識を習得し、自ら進んで健康づくりプログラムに参加します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員に定期的な研修会等を通じて、啓発を行います。</li> <li>・健康づくりの発信源となります。</li> <li>・健康づくり事業に協力します。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健（検）診を受けやすい環境をつくり、受診率の向上を目指します。</li> <li>・健（検）診未受診者および精密検査の未受診者へ受診勧奨を行います。</li> <li>・健康づくりを行うグループを育成し、身近で参加しやすい健康プログラムをつくります。</li> <li>・教室や講座の開催、広報やホームページ等を通じて、健康づくりに関する正しい情報の提供を行い、市民自らの健康づくりを支援します。</li> <li>・予防接種の接種勧奨を適時行います。予防接種制度の改正等に対し、迅速に対応し、新しい情報を発信します。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者健康づくりに関する情報提供を行い、健康づくり事業を支援します。</li> <li>・事業者が健康づくりの発信源となるよう啓発をします。</li> </ul>

**基本事業（１） 健康づくりの推進**

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が健康に関する必要な情報を入手できるとともに、正しい知識を習得し、健康によい生活習慣を身につけています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
健康のため食事に気をつけている市民割合	%	76.2 (22年度)	80.0以上
運動習慣者の割合	%	男45.6 女35.0 (22年度)	維持
自分に合ったストレス解消法を持つ人の割合	%	77.6 (22年度)	維持
フッ化物洗口実施者数	人	5,431	7,000

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
食育推進事業	第2次鎌ヶ谷市食育推進計画を基に「朝食を食べる人を増やす」「共食を増やす」等を重点課題として関係課と協働し食育を推進する。また、次期計画を策定する。
健康づくり推進関係事業	運動や食生活を始めとした健康づくりのための講座・教室・相談などを実施し、ライフステージに合わせた健康づくりを推進する。
母子保健関係事業	利用者支援事業「母子保健型」・産後ケア事業・乳児家庭全戸訪問事業・ブックスタート事業等を実施し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行う。
思春期健康教育関連事業	子ども達が自分や相手を大切にし、一人で悩まず相談できるよう教育活動、関係機関の連絡会等を実施する。ライフデザイン啓発冊子の配布及び教育を行う。
フッ化物洗口事業	保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級において、フッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯をつくる。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 地域医療体制の整備**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が、かかりつけ医を持つことにより安心して生活できています。また、入院、高度医療等、必要に応じた医療の提供を受けています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
かかりつけ医の役割を知っている人の割合	%	54.6 (22年度)	増加
病院・一般診療・医療機関数	機関	70 (28年度)	現状維持
市内への救急搬送割合	%	59.7 (28年度)	現状維持

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
二次救急医療機関運営事業	船橋市との協定により、病院群輪番制の運営事業費を負担し、入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療（二次救急）に対応する。
「かまがや安心医療ナビ」事業	医療ナビシステムを運用し、市内を中心に近郊地域までの医療機関情報等を定期的に収集し、発信、提供する。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 疾病予防・早期発見・早期治療の推進

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

予防可能な感染症のまん延が防がれているとともに、病気の早期発見・早期治療がなされています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
予防接種率（BCG）	%	100	現状維持
各種健（検）診の受診率（胃がん検診）	%	12.2	25.0

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
予防接種事業	予防接種法に基づいた定期の予防接種を実施する。
がん検診事業	健康増進法等に基づいた胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸部がん検診を実施する。
妊婦健康診査事業	妊娠中の健康管理と異常の早期発見をする妊婦健康診査に必要な経費を公費で助成する。

（３）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります

施策 1-2-1 いきいきとした生涯学習の推進⇒⇒「後期基本計画」P47

■■ 施策のねらい (めざす姿) ■■

市民が生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かし、生きがいをもって生活しています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
生涯学習をしている市民割合 (市民意識調査)	%	55.1 (25年度)	70.0
学習施設利用者数	人	329,862	400,000
図書館資料貸出数	冊	405,089	450,000

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<p>多種多様な学習の場に積極的に参加します。 学習した成果を地域で活かします。 市民の団体・サークルが交流・連携を通じて活動の輪を広げていきます。</p> 
事業者	<p>・生涯学習への理解を深め、市民の生涯学習活動の支援に努めます。</p> 

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<p>・市民のニーズ、社会の要請に資する学習機会を提供します。 ・学習センター等において、学習した成果を発表する場を提供します。 ・団体・サークルの交流・連携の創出を意識した学習機会を提供します。</p> 
事業者	<p>・企業の社会・地域貢献事業を積極的に支援します。 ・企業の研修の場として、施設を利用してもらいます。</p>

**基本事業（１） 生涯学習の環境づくり**

**（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

市民が生涯にわたり自ら学ぶための環境が整えられています。

**（１）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
公共施設予約システム アクセス件数	件	209,970	56,000
ネット予約件数	件	14,811	15,250

※31年度のシステム変更により目標値の把握ができなくなるため、成果目標を追加する。

**（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
図書館改修事業	図書館エレベータ改修工事を行う。
図書館蔵書・資料整備 事業	図書資料の購入を行う。
図書館情報ネットワー ク事業	インターネットを利用した蔵書検索及び貸出・予約システムを運用する。
学習センター等の管理 運営	生涯学習推進センター及び各学習センターの維持管理と事業の実施及び公共施設予約システムの円滑な運営。

**（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.4	図書館改修事業	22,881	22,881	0
P.4	図書館蔵書・資料整備事業	31,000	15,500	15,500

**（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

学習センター等改修事業

**基本事業（２） 生涯学習活動の推進**

**(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）**

多くの市民が生涯学習活動に参加し、自己を高めています。

**(2) - ②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
学習センター登録サークル・団体数	団体	455	500
市主催講座参加者数	人	20,288	27,000

**(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
かまがやまなびい大学事業	各部担当の学部主催講座を実施するほか、市民主催の学習会や研修会に職員を講師として派遣する。
学習センター主催各種講座	いきいきライフ教室、オープンカレッジかまがや、北部タウンセミナー、親子セミナー、こども体験教室、ふれあいまつり 他。
まなびいパソコン講座	市民を対象としたパソコン講座の実施。 (まなびいパソコン普及会との協働事業)
コミュニティスクール推進事業	学校開放事業、コミュニティスクール運営委員会会議、オープンセミナー等の実施。
読み聞かせボランティアアドバンス研修	読み聞かせボランティア実践者を対象とした研修会の実施。

**(2) - ④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 学習成果を活かす場づくり**

**(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）**

生涯学習活動の成果を地域で活かしています。

**(3) - ②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
公民館まつり参加者数	人	10,332	10,000

**(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
公民館まつり事業	公民館利用サークルの学習成果の発表を行うとともに、地域の人との交流を深める。
かまがや再発見クラブ	学校のクラブ活動に芸術文化協会等、地域の方が講師として参画し、学校との連携、異世代交流を図る。
ギャラリー等貸出事業	展示スペース等を利用し、活動の成果を来館者等に発表する場を提供する。

**(3) - ④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります  
 施策1-2-2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興⇒⇒「後期基本計画」P49

■■施策のねらい（めざす姿）■■

スポーツをする市民が増え、一人ひとりが健康で明るい生活を送っています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
1年間継続してスポーツをしている市民割合 (市民意識調査)	%	21.4 (25年度)	25.0
余暇時間にスポーツを行っている市民割合 (市民意識調査)	%	12.6 (25年度)	15.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・スポーツに親しみ、自らの生きがいや健康づくりに役立てます。	
事業者	・イベントの開催や場の提供などを通じて、市民のスポーツ活動を支援します。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	スポーツに親しみ、自らの生きがいや健康づくりに役立つように、各種スポーツイベントや教室を実施します。	
事業者	市民のスポーツ活動の支援を促進するよう、各種イベントや教室の周知を広報や、公共施設へのポスターの掲示等により行います。	

基本事業（1） スポーツ活動の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツに親しんでいます。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
スポーツイベント・教室参加者数	人	14,423	15,500

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
新春マラソン大会	市内外や県外からの参加があり、大会を目指して日頃から練習する市民が増え、健康増進に寄与する。
プロスポーツ活用事業	北海道日本ハムファイターズと連携した事業を行う。ランフェスタ、少年野球教室、軽スポーツ教室、グラウンドイベントなど。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） スポーツ関係団体・指導者の育成

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

スポーツ団体・指導者が育成され、地域でのスポーツ活動が活発になっています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
体育協会登録団体数	団体	28	増加

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
体育協会加盟団体の育成	市民のニーズにあったスポーツを提供するため、各種団体や指導者の育成に努めます。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） スポーツ施設の整備・充実

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

スポーツ施設をより多くの市民が快適に利用しています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
スポーツ施設利用者数	人	327,206	340,000

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
陸上競技場改修事業	日本陸連4種公認のための用器具を購入する。 メインスタンド改修設計を行う。

（３）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.5	陸上競技場改修事業	59,030	55,200	3,830

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります

施策 1-2-3 芸術・文化の振興⇒⇒「後期基本計画」P51

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

地域に根ざした市民文化が創造され、その活動が広く展開されています。  
また、歴史、文化遺産が適切に保存・継承され、周知・活用されています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市民文化祭等市主共催 芸術文化事業参加・発表者数	人	1,353	2,800
指定文化財数	件	31	32

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に芸術文化を創造し、積極的に活動します。</li> <li>郷土の歴史を正しく理解し、文化財の保護・継承・活用に努めます。</li> </ul> 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域芸術文化振興の支援に努めます。</li> <li>文化財の保護に努めます。</li> </ul> 

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術文化活動の機会や場の提供を行うとともに、芸術文化団体への支援を行います。</li> <li>市民の郷土の歴史、文化財に関する認知度、理解度を高めるため、調査、研究成果の情報を活用・提供します。</li> </ul> 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域芸術文化振興の支援の機会を提供します。</li> <li>文化財の市民周知事業にあたっての参加機会の創出をします。</li> <li>文化財保護制度の周知を行います。</li> </ul>

基本事業（1） 多様な市民文化活動の推進

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

芸術文化に親しむ機会と場が、団体等との協働により、広く提供されています。  
また、市民の組織的かつ自主的な文化活動が行われるよう、文化団体が育成されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市民文化祭参加団体数	団体	124	138
きらりホール自主公演 観覧者数	人	5,130	4,200
きらりホール自主公演 市民協力者数	人	112	100

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民文化祭	芸術文化に親しむ機会と場が、団体等との協働により広く提供され、市民の組織的かつ自主的な文化活動が行われるよう文化団体が育成されている。
芸術文化鑑賞事業	きらりホール自主公演を中心として、市民に優れた芸術文化を鑑賞する場、機会を提供する。また、きらりホールにて市民参加型の公演を行い、市民の自主的で多様な文化活動を促進していく。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 歴史・文化遺産の保存・継承・活用の推進

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

歴史・文化遺産が適切に保存・継承されるとともに、周知・活用されています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市史等刊行図書数	点	58	60
調査・収集した資料点数	点	84,907	71,500

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	国史跡を適正に保存管理し、活用に資するため、捕込の整備を行う。
埋蔵文化財緊急調査事業	中沢地区の一本松遺跡で出土した資料の整理作業及び分析、発掘調査報告書の作成を行う。
文化財保管スペース整備事業	郷土資料館等に保管している資料の暫定保管スペースを取得しようとするもの。
市指定文化財等の周知	散策マップの配布・説明看板の設置等。
市指定文化財の指定	指定文化財候補物件の調査、文化財審議会への諮問。

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.5	国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	5,600	2,800	2,800
P.6	埋蔵文化財緊急調査事業	10,375	6,091	4,284
P.6	文化財保管スペース整備事業	45,200	45,200	0

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策 1-3-1 豊かな人間性を育む幼児教育の充実⇒⇒「後期基本計画」P53

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携が深まり、幼児たちがいきいきと活動しています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市内幼稚園児・保育所 児童数	人	3,537	3,500

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	・地域での教育に積極的に取り組みます。	
事業者	・労働条件の整備を進め、子育てしやすい職場環境づくりに努めます。	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	幼児教育を奨励し、子育て家庭の負担の軽減を図るために補助を行います。	
事業者	家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携を支援するため、補助を行います。	

基本事業（1） 幼児教育体制の充実

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携により、幼児に対する教育が行われています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
幼稚園振興費補助金支 出件数	件	9	9

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
私立幼稚園への補助	希望する全ての児童に幼児教育を提供するため、私立幼稚園事業者へ補助金を支出し、経費の軽減を図る。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 幼稚園への就園奨励

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

幼稚園の入園者に、適切な支援がなされています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
幼稚園就園奨励費補助 金支出件数	件	1,831	1,900

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
幼稚園保育料の補助	希望する全ての児童に幼児教育を提供するため、幼稚園を利用する保護者へ補助金を支出し、経費の軽減を図る。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策 1-3-2 生きる力を育てる義務教育の充実⇒⇒「後期基本計画」P55

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

良好な学習環境の中で、児童・生徒がたくましく生きる力を身につけています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
少人数指導教員配置数	人	14	14
特別支援教育推進指導教員配置数	人	17	14
不登校児童生徒出現率	%	1.2	0.5
義務教育施設耐震化率	%	100.0	100.0

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭教育を充実させ、心身の調和のとれた子どもを育成します。</li> <li>地域の教育力を高め、地域で子どもたちを育てます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場体験などへの協力により、「生き方教育（キャリア教育）」の支援を行います。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数指導教員及び特別支援教育推進指導員の資質の向上を図るため、研修の内容をより精査し実施していきます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場体験による「生き方教育（キャリア教育）」の支援協力を推進するため、市内の多くの企業等に協力を求めています。</li> </ul>	

基本事業（1） 地域とともに育つ特色ある学校づくり

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

児童・生徒の基礎学力が高められているとともに、一人ひとりの個性や生きる力を伸ばす教育が進められています。また、学校と家庭、地域社会が一体となって教育活動に取り組んでいます。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
特別支援教育推進指導教員配置人数	人	17	14
学校支援ボランティア数	人	647	現状維持
学校図書館図書標準達成校	校	8	13

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
特別支援教育推進事業	特別支援教育推進指導教員（ほほえみ先生）を全校に配置し、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行う。
少人数教育の推進	児童生徒に「確かな学力」を身につけさせるため、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行う。
外国語指導の推進	ALTを全中学校に配置、全小学校へは派遣し、児童生徒に充実した外国語教育環境を提供する。
学校図書館環境の推進	全校に司書を配置し、図書を購入することで児童生徒に充実した読書環境を提供する。
理科教育環境の推進	全小学校に理科支援員を派遣し、児童に充実した理科教育環境を提供する。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.7	特別支援教育推進事業	69,334	34,667	34,667

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 専門性と社会性を備えた教職員の育成**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

教職員が新たな学習課題に応じた高い専門性を身につけるとともに、幅広い視野と社会性を兼ね備え、指導にあたっています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
教職員研修受講割合	%	100	100

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
鎌ヶ谷市教育委員会指導訪問	教育委員会等の指導主事が各学校を訪問し、指導方法等の指導を行う。
研究指定校助成	市内の小中学校を研究指定校に指定し、指導方法等の研究を助成する。
自主公開研究助成	市内小中学校の自主的な研究活動を助成する。
学力向上検討委員会	業者テストによる調査結果を分析し課題を明確化し、授業改善の手立てを構築し、学力向上を図る。
道徳授業研修会	魅力ある道徳の授業をめざした研修を推進し、道徳教育の充実を図る。

**(2) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 安全・安心な教育環境づくり**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

児童・生徒が安全で快適な環境で学んでいます。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
小中学校トイレ洋式化率	%	60	76
スクールカウンセラー相談件数	件	1,692	減少

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
スクールカウンセラー事業	児童・生徒の生活上の悩みごとに対して専門職員を配置して対応する。
義務教育施設維持補修事業	小中学校校舎・体育館の施設及び設備の改修工事を行う。
義務教育施設楽器更新事業	小中学校の現状及び学校要望等を基に老朽化等により使用が困難となっている楽器の更新を行う。

**(3) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.8	義務教育施設維持補修事業	1,129,278	532,715	596,563
P.9	義務教育施設楽器更新事業	9,166	4,583	4,583

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】  
 施策 1-3-3 児童・生徒の健康と安全の確保⇒「後期基本計画」P57

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

すべての児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送っています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
学校災害件数の割合	%	6.0	5.0
子ども安全メール登録者数	人	5,528	7,000
学校給食残菜率	%	20.3	12.0

26年度から計量方法の変更あり

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者は、子どもの健康管理に努めます。</li> <li>・子どもの安全に関心を持ち、地域の子どもたちを見守ります。</li> <li>・食に対する正しい理解と望ましい習慣を身につけます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・行政との協働により、犯罪防止活動に協力します。</li> <li>・従業員に安全運転、交通マナーを啓発します。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年定期的に健康診断を実施し、児童生徒の疾病の早期発見に努め、健康管理の維持向上を図ります。</li> <li>・健康診断の結果に基づき、疾病の予防措置を行い、又は治療を指示する等、適切な措置を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者等の情報提供依頼をするとともに、「こども110番の家」、「子ども安全メール」の啓発を行います。</li> <li>・安全運転意識向上のため、通学路に注意喚起、事故防止を呼びかける看板、標識等の設置を行います。</li> </ul>	

基本事業（1） 保健安全教育の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

児童・生徒が健康や安全に関する知識を得、自ら健康管理を行い、安全に対する心構えをもっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
学校定期健康診断受診率	%	96.3	100
災害共済給付申請率 (学校災害発生件数の割合)	%	6.0	5.0

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
児童生徒等の健康診断	内科、眼科、耳鼻科、歯科、就学時健康診断 等。
小中学校環境衛生検査等	照度・照明検査、空気検査、空気総合環境衛生検査、水質検査 等。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 児童・生徒の安全確保**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

家庭、学校、地域が連携して児童・生徒の安全確保に取り組んでいます。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
「こども110番の家」協力者数	件	1,341	1,340
子ども安全メール登録者数	件	5,528	7,000

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
通学路整備事業	通学路にかかる歩道整備、道路整備を行う。
通学路安全対策事業	第三次通学路安全対策推進行動計画に基づく整備及び次期行動計画の策定を行う。
児童生徒安全パトロール事業	児童生徒の下校時刻頃から夕方までの時間帯に通学路を中心として、パトロールを実施する。
こども110番の家及び子ども安全メールの啓発	こども110番の家の増設及び子ども安全メールの登録者数増に努め、こどもの安全を見守る意識を啓発する。

**(2) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.9	通学路整備事業	77,480	45,480	32,000
P.10	通学路安全対策事業	30,000	15,000	15,000
P.10	児童生徒安全パトロール事業	50,320	25,160	25,160

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 学校給食の充実と施設の整備**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

児童・生徒が安全で安心な給食を楽しみ、食に対する理解や望ましい習慣のための学習の場として活用しています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
学校給食アレルギー対応品目数	品	4	7
学校給食残菜率	%	20.3	12.0

26年度から計量方法の変更あり

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
学校給食費徴収システム整備事業	学校給食費に関して、市が一括賦課収納管理するシステムを整備する。
安全で安心な学校給食の継続提供	PFI方式を導入した学校給食事業においても、安全で安心な学校給食の提供を図る。
アレルギー対応食の提供	アレルゲンの一部を除去するアレルギー対応食の提供を図る。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.11	学校給食費徴収システム整備事業	15,452	636	14,816

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策 1-3-4 高等教育の充実⇒⇒「後期基本計画」P59

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

義務教育修了後の生徒が、その能力や適性に応じて幅広い進路選択ができています。自己実現を図るための高度で専門的な学習環境が提供され、市民の学習ニーズが満たされています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
オープンカレッジかまがや参加者数	人	609	1,200

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの能力や適性に応じた進路選択に努めます。</li> <li>多様な学習機会に参加し、専門的な知識を習得します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な学習機会の提供に努めます。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター講座の充実を図ります。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター講座の充実を図ります。</li> </ul>	

基本事業（1） 義務教育修了者の進路選択への支援

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

義務教育修了後の生徒一人ひとりの教育機会が確保されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
高等学校進学率	%	99.3	現状維持

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
幅広い進路選択に向けた情報の提供	上級学校の体験説明会の情報を提供したり、保護者会で高校の先生を招いて説明会を実施する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 高度学習ニーズへの対応

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

高等教育機関との連携等により、市民の高度化した学習ニーズへの対応がなされています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
オープンカレッジかまがや参加者数	人	609	1,200

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
オープンカレッジかまがや	大学のもつ高度な教育機能を市民に開放するため、大学講師による開放講座を行う。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策 1-3-5 青少年の健全育成⇒⇒「後期基本計画」P61

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

青少年が、社会性や社会規範を身につけ、自己を確立し、協調性や連帯感を育んでいます。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
地域見守り活動従事者数(延べ)	人	1,405	1,300
ジュニアリーダースクラブ新規加入者数	人	17	3

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成活動に参画・協力します。</li> <li>・家庭・地域の教育力を高めます。</li> <li>・補導活動に協力します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成に努めます。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	青少年関係団体の連携に協力し、青少年リーダー育成事業を協働で実施するとともに、事業をPRすることにより、潜在的に興味を持っている市民層への掘り起こしを行う。家庭、地域の教育力を高めるための啓発及び講演会を行います。学校PTA、その他関係機関に補導員の協力依頼を行います。	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者に青少年健全育成啓発の協力を求めます。</li> <li>・青少年の非行防止に協力してもらうよう依頼します。</li> </ul>	

基本事業（1） 青少年の育成指導体制の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

学校、家庭、地域社会、行政が相互に連携し、青少年の健全育成に取り組んでいます。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
青少年団体会員数	人	1,073	1,500

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
青少年リーダーの育成	元気っ子ゼミナールなどの体験活動及び指導者研修会を通し、青少年リーダーを育成する。
青少年団体の支援及び育成	青少年関係団体の活動を支援し、育成を行う。
青少年相談員活動の支援	オーバーナイトハイキングやTAG鬼ごっこなどの事業を通じ、青少年の健全育成を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 青少年の社会参加・体験活動の機会づくり**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

青少年が、社会体験や人びととの交流を通じて社会性や社会規範を身につけ、自立心や思いやりの心を培っています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
青少年社会参加・体験活動参加者数	人	8,376	12,000

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
北海道ファームステイ事業	北海道士幌町を訪問し、様々な体験を通じ、ふるさと意識の醸成を図る。
元気っ子ゼミナール	自然体験、学校外学習体験を通じ自主性・社会性を培い、将来の青少年リーダーを育成する。

**(2) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 非行防止対策の推進**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

家庭、学校、地域が連携して非行の早期発見・早期指導に取り組んでいます。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
街頭補導従事者数（延べ）	人	1,405	1,300

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
街頭補導活動	学校、地域、関係機関からの情報をもとに非行や不審者に対する積極的なパトロールを実施する。
かまがや83+運動	子どもの登下校時（主に午前8時、午後3時）に、大人が外での用事をつくり、いつでも見守りをさせていただく運動を実施する。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

基本事業（４） 家庭・地域の教育力の向上

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

保護者が家庭教育の大切さを認識し、実践しています。  
また、地域社会が青少年を見守り、健全に育んでいます。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
「おやじの会」等設立数	団体	7	10
家庭川柳応募数	件	1,423	1,500

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
家庭教育に関する講座	学習センター主催の家庭教育セミナー、親子セミナー等を実施する。
父親の家庭・地域への参加促進事業	家庭・地域での父親の参加を促す啓発事業を実施する。（家庭川柳、おやじの会等）

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります

施策 1-4-1 個性豊かなコミュニティづくり⇒「後期基本計画」P63

■■施策のねらい（めざす姿）■■

地域コミュニティ活動や、テーマに沿った市民活動が盛んに行われ、市民一人ひとりが地域社会の中で役割を認識しています。  
地域のきずながあり、特色のあるコミュニティが形成され、安心して暮らしています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
自治会加入世帯数	世帯	28,812	29,800
市民活動推進センター登録団体数	団体	94	105
過去1年間に地域活動をした市民割合 (市民意識調査)	%	61.2 (25年度)	68.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会活動や市民活動に積極的に参加します。</li> <li>地域住民同士が交流を深めます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の一員として、自治会活動や市民活動を応援します。</li> <li>開発事業者は、自治会への市民参加を啓発します。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報、ホームページ等により自治会活動や市民活動に関する情報を提供します。</li> <li>自治会集会所の整備に対する補助等を促進し、地域コミュニティ活動を支援していきます。</li> <li>地域で活動する様々な主体の育成や連携の支援を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業者には、入居者に対し自治会への加入促進を図るための啓発に協力を依頼します。</li> <li>地域の一員である地元企業、施設、病院等と一緒に自治会活動（盆踊りや催しものへの参加など）に取り組むよう促していきます。</li> </ul>	

基本事業（1） 地域社会との関わり意識の醸成

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

地域社会に関心を持ち、主体的にまちづくりに関わろうとする市民の意識が高まっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
自治会加入世帯数	世帯	28,812	29,800
「市政に参加したい」と思う市民割合 (市民意識調査)	%	26.3 (25年度)	31.7

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
自治会加入促進対策の実施	ホームページやパンフレット等を作成し、自治会加入についての啓発を行う。
鎌ヶ谷市自治会連合協議会に対する支援	鎌ヶ谷市自治会連合協議会の運営に要する経費の一部を補助金として交付することにより、より活発な活動が行えるよう支援する。
市民まつり実行委員会への支援	鎌ヶ谷市民まつり実行委員会に対し経費の一部を負担することにより、より活発な祭りが行えるよう支援する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） コミュニティ施設の整備と管理**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

地域コミュニティ活動や市民活動がしやすい環境が整っています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
コミュニティセンター 利用者数（年間）	人	104,319	105,000

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
自治会集会所整備助成 事業	より活発な自治会活動が行えるよう、自治会活動の拠点である集会所の整備等に要する経費の一部を補助金として交付する。
コミュニティセンター 等改修事業	経年劣化したコミュニティセンターの外壁・屋上防水工事及び空調設備の改修工事等を行う。

**(2) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.12	自治会集会所整備助成事業	27,100	2,180	24,920
P.12	コミュニティセンター等改修 事業	43,515	6,455	37,060

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 市民の組織的まちづくり活動の促進**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

地域コミュニティ活動や、テーマに沿った市民活動が盛んに行われています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市内NPO法人数	法人	30	32
市民活動推進センター 登録団体数	団体	94	105

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
市民活動推進センター の機能の充実	団体運営などに対する助言や相談を行う。また、ホームページやセンターだより等で、団体の活動状況や活動支援・助成情報などの提供を行う。
地域づくりコーディネーター養成講座	地域課題の解決に向け、立場の異なる市民や市民活動団体などが力を合わせて取り組めるよう、橋渡しをする人材を育成する。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります

施策1-4-2 市民生活を支える地域情報化の推進⇒⇒「後期基本計画」P65

■■施策のねらい（めざす姿）■■

市民が情報通信システムを活用し、必要な情報を入手したり、時間や距離に制限されない交流をしています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市ホームページ年間アクセス数	件	552,781	420,000
まなびいネット利用件数(※)	件	209,970	56,000

※平成26年9月から公共施設予約システムへ名称変更

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・正しいICT知識を身につけると同時に、情報通信機器（パソコン、携帯電話、モバイル端末など）を生活に活用します。	
事業者	・市民生活に役立つ情報を分かりやすく提供します。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	・正しいICT知識の向上を図ると同時に、市民に必要な情報をわかりやすく提供します。	
事業者	・ICTを活用し、市民ニーズに合った的確な情報発信を推進します。	

基本事業（1） ICT知識の啓発

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民の情報通信機器及びシステムに関する知識が向上しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
まなびい大学などのICT関係講座の開催数	件	32	11

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
ICT（情報通信技術）関係の生涯学習講座	ICTに関する講座を開催します。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 地域情報システムの基盤整備**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

市民が、多様な情報通信機器を活用し、必要な情報をより入手しやすくなっています。また各種行政手続きがオンラインやワンストップサービスで行われています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市ホームページ年間アクセス数	件	552,781	420,000
まなびいネット利用件数(※)	件	209,970	56,000

※平成26年9月から公共施設予約システムへ名称変更

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
市ホームページリニューアル事業	コンテンツマネジメントシステムを導入し、ウェブアクセシビリティの向上を図る。
市ホームページの運用	ホームページによる市の概要や市政の情報提供を行う。
電子入札事業	入札・契約情報をインターネット上に広く公開し、透明性、公平性の向上と手続きの効率化を図る。

**(2) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 情報通信システムのまちづくりへの活用**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

情報通信システムがまちづくりに活用されています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
電子メール受信数	件	136,968	120,000

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
市ホームページの運用	市の施策を公開するとともに、パブリックコメント等を実施する。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策 1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります  
 施策 1-4-3 男女共同参画社会づくり⇒⇒「後期基本計画」P67

■ ■ 施策のねらい (めざす姿) ■ ■

男女が互いに人間として平等に尊重されつつ、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らしています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
男女が平等であると考え る市民割合	%	20.1 (25年度)	35.0
審議会等女性委員割合	%	28.3	30.0

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーや研修会等の啓発事業へ主体的に参画します。</li> <li>・社会のあらゆる分野において男女共同参画社会づくりへ寄与します。</li> <li>・男女平等の視点をもって、慣行や古いしきたりを見直します。</li> </ul> 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女ともに能力を発揮し、働きやすい職場環境をつくります。</li> <li>・子育てや介護を続けながら働ける環境づくりに努めます。</li> </ul> 

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画への認識を深め行動できるよう、市民が参加しやすいセミナーや研修会を開催します。</li> <li>・男女共同参画について、情報誌やホームページで情報発信を行い、参画意識の醸成を行います。</li> </ul> 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスについて認識を深め行動できるよう、事業者と連携をとりながらセミナーや研修会を開催します。</li> <li>・長時間労働などの問題提起や、意識改革を行うワーク・ライフ・バランスについての啓発事業を行います。</li> </ul>

基本事業 (1) 男女平等意識の醸成と普及・啓発

(1) -①基本事業のねらい (めざす姿)

市民の間に広く男女平等意識が育っています。市民がそれぞれ機会や生き方の可能性が平等であると感じています。また、女性・男性に対するあらゆる暴力がありません。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
男女が平等であると考え る市民割合 (市民意識調査)	%	20.1 (25年度)	35.0
男女共同参画推進セン ター主催事業参加者数	人	1,836	1,000
DV予防講座受講者数	人	425	480

(1) -③「基本事業のねらい (めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
男女共同参画についてのセミナー開催	男女共同参画について市民の意識が深まるよう男女共同参画セミナーを開催する。
男女共同参画推進センター機能の充実	団体等の運営に係る助言や相談、交流の場の提供などにより団体等の育成を図る。
男女共同参画についての啓発	男女共同参画への理解を深めていくため情報誌の発行を行う。
女性のための相談体制の充実	「女性のための相談」を広く周知し、相談しやすい体制づくりを行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業 (多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 女性の政策・方針決定過程への参画**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

政策・方針決定過程に関わる女性が増えています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
審議会等女性委員割合	%	28.3	30.0
女性職員の管理職比率	%	24.1	20.0
女性教員の管理職比率	%	13.3	20.0

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
男女共同参画についてのセミナー開催	男女共同参画について職員・教員の意識が深まるよう男女共同参画セミナーを開催する。
男女共同参画推進計画の推進及び改定	計画を推進するため、進捗状況の管理及び評価を男女共同参画推進懇話会で行うとともに、計画の改定を行う。
審議会等における保育円滑支援	政策・方針決定過程に関わる審議会等について、保育付で実施し子育て中の方の積極的な参加を促す。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 女性の就労支援と環境の整備**

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

就労を希望する女性・就労している女性に対して適切な支援が行われています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
就学前人口に対する保育所入所率	%	26.6	18.0

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
男女共同参画についてのセミナー開催	転職・再就職を考えている女性に対し、パソコン連続講座を実施する。
男女共同参画についての啓発	女性の雇用分野における課題について、情報誌などでの啓発・積極的な情報提供に努める。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります

施策 1-4-4 世界と結びつく国際化の促進⇒⇒「後期基本計画」P69

■■施策のねらい(めざす姿)■■

市民による国際交流が盛んに行われています。  
国際平和の意識が高く、様々な分野で国際化への対応が行われています。  
外国人にも暮らしやすい鎌ヶ谷市になっています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
通訳ボランティア登録人数	人	26	30
姉妹都市ワカタネを知っている人の割合	%	45.1 (25年度)	65.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や地域に根ざした多文化共生社会(※1)のための活動に主体的に取り組みます。</li> <li>平和の尊さ・戦争の悲惨さを認識し、後世に伝えます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人にも利用しやすいサービスの提供や適切な労働環境の整備に努めます。</li> </ul>	

※1 多文化共生：海外出身者や国籍の異なる人々がお互いの文化的な違いを尊重しあい、地域の一員として暮らすことのできる状態

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生推進センターと多文化共生推進連絡協議会の協働により、市民の国際化や在住外国人との交流に繋がる様々な取組みを積極的に展開していきます。</li> <li>平和の尊さ、戦争の悲惨さを認識するためのパネル展示などを実施し、情報提供します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生推進センター及び多文化共生推進連絡協議会加盟団体を通して、国際化、国際交流等に関する情報の提供を行います。</li> </ul>	

基本事業(1) 国際交流のきっかけづくり

(1)-①基本事業のねらい(めざす姿)

市民の国際交流の推進やネットワークの構築など、交流のきっかけづくりが行われています。

(1)-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
国際交流協会イベント参加者数	人	626	800
姉妹都市交流事業実施回数	回	3	3
ホストファミリー登録者数	人	65	80

(1)-③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
地域における草の根交流の推進	多文化共生推進連絡協議会加盟団体等の主催事業や在住外国人との交流イベントを実施する。
姉妹都市交流など海外との交流促進	姉妹都市ワカタネ学生受け入れにあたってのホストファミリーの募集・登録を促進する。

(1)-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1)-⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 国際化の意識づくり**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

日本人と外国人の相互理解など、国際化の意識が浸透しています。  
また、すべての人が平和の尊さを認識し、恒久平和の実現に努めています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
国際交流・国際協力活動に参加した人の割合 (市民意識調査)	%	0.9 (25年度)	3.0
平和関連行事に対する市の後援数	回	7	8

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
平和への取組み	終戦記念日等における平和関連事業や普及イベントを開催する。
多文化共生に関する教育の充実	通訳ボランティア向けのボランティア養成講座を実施する。

**(2) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 外国人にも暮らしやすい環境づくり**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

行政サービスや情報の提供・収集が充実し、外国人にも暮らしやすい環境が整えられています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
語学ボランティア派遣数	人	14	15
行政資料の新規翻訳数	件	16	19
国際交流協会日本語教室参加者数	人	26	30

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
多文化共生推進センターの充実（各講座の開催など）	自主事業の実施やプラザ通信の発行による情報の収集及び提供を行う。
多言語による情報提供の充実	外国人住民向け資料の配布や各種行政情報を翻訳する。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

基本目標2 「自然と社会が調和する 環境共生都市」をめざして  
 政策2-1 人と自然にやさしい地域社会をつくります  
 施策2-1-1 環境保全の促進⇒⇒「後期基本計画」P71

■ ■ 施策のねらい（めざす姿） ■ ■

市民一人ひとりの環境意識が高まり、身近な生活環境や自然環境、そして地球環境までに配慮した生活をおくっています。  
 市民・事業者・行政が協働して環境保全活動に取り組んでいます。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
河川の水質BOD値	mg/L	7.5	5.0以下

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会で環境保全活動に取り組みます。</li> <li>・エネルギーの効率的利用を行います。</li> <li>・都市生活型公害にかかる対応については当事者において完結する意識で対応します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業としての社会的責任を理解して、環境保全活動に積極的に取り組みます。</li> </ul>	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境フェアや環境パネル展等を開催し、市内の環境保全団体の活動について広く知ってもらい、市民の積極的な参加を促します。</li> <li>・環境学習講座等により地球温暖化対策の推進への理解を深めてもらうとともに、再生可能エネルギー普及のための啓発事業を展開します。</li> <li>・公害調停委員会（県）、公害等調整委員会（国）等の公害問題解決機関への斡旋を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多岐にわたる公害関係法令を企業側が遵守できるよう、法令等の提供や相談・周知啓発活動を行います。</li> </ul>	

基本事業（1） 環境保全活動の促進と市民参加

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が環境保全に関する正しい知識を習得し、生活習慣を身につけています。  
 また、環境保全活動に市民が参加しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
環境保全活動団体数	団体	12	増加

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
環境学習講座	地球温暖化対策講座・自然環境講座等を開催し、環境保全に関する意識を高める。
水質浄化活動	各河川及びその流域（真間川・手賀沼・印旛沼等）の水質浄化のための普及啓発及び環境保全と良好な生活環境の保全を図る。
住宅用再生可能エネルギー設備等の設置促進	地球温暖化防止を推進するため、太陽光発電システム等の設備を設置する者に対し費用の一部を補助する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 環境保全への監視・指導体制の充実**

**（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

環境保全に関する監視が適切に行われ、必要な指導が徹底されています。

**（２）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
公害苦情相談受付件数	件	109	減少

**（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
公害苦情相談の受付・指導	公害に関する苦情・相談内容を的確に把握し、適正な指導を行う。
市内公共用水域水質調査	河川等の汚濁状況を調査し、汚濁防止の指針とする。
航空機騒音調査	下総飛行場を利用する航空機の航空機騒音の事態を把握する。

**（２）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 環境保全へのルール・計画づくり**

**（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

環境保全活動に取り組むためのルールや計画が明確になっています。

**（３）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
環境計画策定・改定市民関与数	人	389	増加

**（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
鎌ヶ谷市環境基本計画の推進	環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。
鎌ヶ谷市地球温暖化実行計画の推進	地球温暖化対策を計画的に推進し、情勢に応じた検証・見直しを行う。

**（３）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策2-1 人と自然にやさしい地域社会をつくります  
 施策2-1-2 循環型社会の構築⇒「後期基本計画」P73

■ ■ 施策のねらい（めざす姿） ■ ■

市民の資源の保全に関する意識が高まり、市民・事業者・行政が協働して、ごみ減量化、リサイクルへの積極的な取り組みが進められています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
資源化率	%	20.2	上昇
最終処分率	%	8.1	減少

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別を徹底し、ごみの減量化を図ります。</li> <li>・再生資源を使用した製品を購入します。</li> <li>・物を大事に使用し、ごみを出さないようにします。</li> <li>・子どもから大人までを対象にした3Rについての学習を行い、循環型社会に向けた意識の高揚を図ります。</li> <li>・子どもから大人まで地域ぐるみで環境美化に取り組みます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化を図るとともに、自己処理を徹底します。</li> <li>・ごみとして廃棄されることが少なくなるように、物を製造・加工・販売します。</li> </ul>	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うため行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に生ごみ処理容器の補助金について、広報でPR</li> <li>・小学生（1年生と4年生）にパンフレット配布</li> <li>・有価物回収運動の促進</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者が、生活系のごみステーションを使わない様にPRすることで、生活系に出される事業所からのごみが減ります。（事業者は、経費削減のため、自助努力します。）</li> <li>・再資源化に関する情報の提供</li> </ul>	

基本事業（1） ごみ減量の促進

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民や事業者がなるべくごみを出さないようにしています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市民1人1日当たりごみ排出量	g	596	減少

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
ごみの分別徹底周知	ごみの分別を行うことにより、資源になるものは再利用し、焼却するものと、そうではないものに分け、ごみの減量化を図る。
生ごみの水切りの徹底	生ごみを排出するときに水切りをし、燃えやすくするとともに、ごみの減量につながる。
生ごみ処理容器の設置促進	家庭から出る生ごみを処理容器設置により、自主処分を行い、ごみとして出さない。
ごみ分別アプリの利用促進	ごみ分別や出し方のアドバイス、ごみ出しに関する情報をお知らせするアプリの利用促進を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） リユースの促進**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

物を大切にし、「壊れたら捨てる」から繰り返し利用しようとする意識が高まっています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
リサイクル情報の掲載 件数	件	17	増加

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
リサイクルフェアの開催	再利用を目的とした大規模なイベントを開催し、ごみとして出されたものを有効活用していただく。
リサイクル情報の提供	不要になったがまだ使えるものを、広報等を通じてやり取りすることにより、再利用の件数を増やし、ごみを減量する。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） リサイクルの促進**

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

ごみ分別の徹底、リサイクルの促進により、資源の有効利用がなされています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
資源化率	%	20.2	上昇

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
ごみ分別出前講座	自治会との協働によるごみ分別出前講座を実施する。
使用済み小型家電リサイクルの促進	小型家電リサイクル法の施行に伴い、対象品目のリサイクル体制を整備する。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 最終処分量の減量の促進

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

中間処理や資源化により、最終処分量の減量がなされています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
最終処分量	t	2,467	減少

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
廃棄物処理施設周辺整備事業	廃棄物処理施設周辺地域の環境向上に資する整備を行う。
クリーンセンターしらさぎ長寿命化対策事業	しらさぎの長寿命化を目的とした大規模改修を行う。
リペア、リサイクル、リユース、リデュース、リフューズの促進	各種廃棄物減量化事業の実施

（４）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.13	廃棄物処理施設周辺整備事業	21,252	11,823	9,429
P.13	クリーンセンターしらさぎ長寿命化対策事業	15,728	0	15,728

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策2-2-1 良好な住宅の整備⇒⇒「後期基本計画」P75

■■施策のねらい（めざす姿）■■

市民が、良好な居住環境の下、良質な住宅で暮らしています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
工事完了検査率	%	87	100
無料耐震診断相談会申込者への診断実施率	%	100	100

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築関係法令に対する正しい意識をもちます。</li> <li>・建築物を適正に維持管理します。</li> <li>・新築、増改築時等は法令を遵守し、完了時に検査を受けます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼人に対して適正に法令の説明をします。（法令遵守と説明責任を果たします。）</li> <li>・行政と協力して市民に対して住情報を提供します。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が安全で快適に暮らすことのできる環境を構築するための情報提供窓口を整えます。</li> <li>・建築パトロール等を通じて、違反建築物の早期発見、是正に努めます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築、リフォーム、耐震補強等を行う際に、事業者からも市民に住情報を提供していただくため、情報提供窓口を整えます。</li> </ul>	

基本事業（1） 良好な住環境の確保

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

違反建築や乱開発を防止し、住環境が向上しています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
工事完了検査率	%	87	100

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
空家等対策事業	空家等対策計画に基づき、空家等の適正な管理や有効活用のための各施策を推進します。
建築パトロールの実施	年12回建築パトロールを実施します。
リサイクルパトロールの実施	年12回リサイクルパトロールを実施します。

（1）-④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.14	空家等対策事業	1,426	713	713

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 安全で快適な住宅の整備**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

地震に対する安全性の向上など、市民が安全・安心に居住できる住環境が整備されています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
無料耐震診断相談会申込者への診断実施率	%	100	100

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
住宅耐震改修促進事業	簡易耐震診断及び相談を無料で実施するとともに、精密診断費、改修設計費、工事監理費及び改修工事費の補助を行います。 また、通学路等に面する危険なブロック塀等の除却費等の補助を行います。
アクションプログラムの策定	耐震改修促進計画に定めた住宅耐震化率の目標達成に向け、住宅所有者等に対して戸別訪問等を行うと共に、耐震診断・改修の工事実績等を公表します。

**(2) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.14	住宅耐震改修促進事業	11,360	5,680	5,680

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 住みよい公営住宅の充実**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

必要とする市民に公営住宅が提供されるとともに、その住環境が改善されています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市営住宅入居率	%	92	100

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
市営住宅長寿命化事業	市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅を計画的に維持・補修し、長寿命化を図ります。
市営住宅家賃の徴収強化	市営住宅の家賃の徴収をさらに強化するとともに、場合により入居者の実情に合わせた納入を指導、滞納を減らします。
市営住宅の修繕業務	経年劣化部分や住戸内の建具、扉等の突発的な不具合について修繕を行います。

**(3) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.15	市営住宅長寿命化事業	34,570	34,570	0

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

政策2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策2-2-2 快適な公園・緑地環境の整備⇒⇒「後期基本計画」P77

■■施策のねらい(めざす姿)■■

市民と行政が一体となって自然の緑地を保全し、さらに緑の空間の創造に取り組んでいます。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市民一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup> /人	3.0	3.8

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちにとって愛着のある公園となるよう公園等の管理に参加しています。</li> <li>生垣、樹木の植栽、既存樹木の保全などの緑化に努めます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業者は、樹木の保全及び公園の設置に協力します。</li> <li>事業地内の緑化に努めます。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民にとって愛着のある公園となるよう維持管理に参加してもらうため、公園サポーターを募集します。</li> <li>既存樹木、樹林等の適正な維持管理の啓発を行います。</li> <li>桜を市民参加で守り育てるため、桜の里親を募集します。</li> <li>ふれあいの森、保全林、保存樹木にみどりの保全助成金を交付します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅地開発事業者に「鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱」に基づき、公園又は緑地の設置について指導します。</li> </ul>	

基本事業（１） 花とみどりのふれあい空間づくり

（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）

各種公園の整備によるふれあい空間づくりが行われています。

（１）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市民一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup> /人	3.0	3.8

（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
地区公園整備事業	市制記念公園駐車場の舗装工事を実施する。 栗野地区公園の用地交渉を継続していく。
街区公園整備事業	鎌ヶ谷一丁目及び丸山三丁目ふれあいの森の用地取得等を実施する。
公園施設長寿命化事業	遊具・施設等の老朽化に対する安全対策の強化及び修繕・更新費用の平準化を図るために実施する。
緑の基本計画策定事業	平成14年度に策定した「みどりの基本計画」が平成32年度に計画期間が終了することから、平成33年度以降の計画を策定する。
緑道整備事業用地の検証	取得済みの東京10号線延伸新線跡地の活用方法について検討を行う。

（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 15	地区公園整備事業	17,600	17,600	0
P. 16	街区公園整備事業	358,614	195,787	162,827
P. 17	公園施設長寿命化事業	103,833	69,420	34,413
P. 17	緑の基本計画策定事業	4,563	0	4,563

（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） パートナーシップによる緑づくりと保全

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域住民とのパートナーシップによる公園や樹林地の維持管理が行われるとともに、市民参加による緑地保全がなされています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
公園等サポーター数	人	31	42

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業	新鎌ヶ谷駅周辺から市制記念公園周辺の「桜ゾーン」に市民協働で桜を植樹し、鎌ヶ谷の魅力向上を図る。
公園等サポーター制度の活用	公園及びふれあいの森等を、市内に居住する個人の方や団体等の協力で管理をする。

（２）－④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 18	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業	4,792	2,338	2,454

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策 2-2-3 うるおいある河川・水路の整備⇒⇒「後期基本計画」P79

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民が水辺に親しみをもっています。  
河川・水路等の整備が進み、市民が安心して生活できています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
浸水面積	ha	123.5	121.1
浸透柵設置個数	基	6,957	7,800

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸透柵を設置し、雨水を浸透させ流出を抑制します。</li> <li>・ 河川区域の環境美化活動を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業地内において、浸透施設や貯留施設を設置し、雨水の流出を抑制します。</li> <li>・ 河川区域の環境美化活動を行います。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水浸透柵の啓発及び浸透柵モニター制度による雨水浸透柵の設置を行います。</li> <li>・ 河川区域の環境美化の啓発を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水浸透柵の啓発及び鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱に基づく雨水流出抑制施設の設置の要望を行います。</li> <li>・ 河川区域の環境美化の啓発を行います。</li> </ul>	

基本事業（１） 安心して暮らせる治水対策

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

河川、水路、貯留池の整備と適切な維持管理がされ、市民が水害に対し、安心して生活できています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
貯留量	m <sup>3</sup>	40,421	40,160

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
準用河川整備事業	河川水路、地域排水の流末を確保するとともに、周辺流下能力を考慮し、準用河川施設の整備を推進する。
地域排水整備事業	市街地における内水排除を軽減するため、周辺地域の流下能力を考慮し、地域排水施設の整備を推進する。
雨水貯留池整備事業	市街地の開発、整備などに伴う保水能力の低下を防止するとともに、治水機能の向上を図る。
河川・水路整備事業	地域排水の流末を確保するとともに、周辺地域の流下能力を考慮し、河川水路施設の整備を推進する。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.18	準用河川整備事業	621,758	311,326	310,432
P.19	地域排水整備事業	172,067	81,786	90,281
P.20	雨水貯留池整備事業	99,454	53,684	45,770
P.21	河川・水路整備事業	7,308	3,480	3,828

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） うるおいある水辺環境づくり

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

緑と調和した魅力ある水辺環境が整備され、市民が水辺に親しみを持っています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
河川・水路に対する満足度（市民意識調査）	%	13.8 (25年度)	15.0

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
流域環境整備事業	河川・水路の清掃、除草、補修を行い、機能維持を図るもの。

(2) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.21	流域環境整備事業	61,948	33,474	28,474

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策2-2-4 上・下水道の整備⇒⇒「後期基本計画」P81

■■施策のねらい（めざす姿）■■

すべての市民が、良質で安定した水を利用しています。  
下水道（汚水）が整備され、市民が衛生的な環境の中で生活しています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
上水道普及率	%	76.6 (28年度)	上昇
下水道普及率（処理区域内人口/行政区域内人口）	%	65.2	68.0
下水道水洗化戸数	戸	28,297	29,300

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源の重要性を認識し、節水に努めます。</li> <li>公共下水道整備区域に居住している場合には、公共下水道へ接続します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源の重要性を認識し、節水に努めます。</li> <li>排出基準を守り、公共下水道へ接続します。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源の重要性を認識し、節水に努めていただけるように啓発を行います。</li> <li>9月10日の下水道の日を利用し、広報（9/1）へ掲載します。</li> <li>下水道区域について、公共下水道への接続を促進します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源の重要性を認識し、節水に努めていただけるように啓発を行います。</li> <li>下水道区域について、下水道管等設置の規制誘導します。</li> </ul>	

基本事業（1） 上水道の普及と水の有効利用

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が、良質で安定した水を利用しています。  
また、水資源の有限性について理解し、節水行動をとるなど、水を有効利用しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
上水道普及率	%	76.6 (28年度)	上昇

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
県水道の周知	千葉県水道局が実施する水道事業の各施策について周知を行う。
専用水道及び小規模専用水道等の布設及び管理に関する事務	水道法（昭和32年法律177号）及び小規模水道条例（平成25年条例第6号）に規定する水道施設（専用水道、簡易専用水道、小規模専用水道、小規模簡易専用水道）に係る衛生状況の監視等を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 公共下水道の充実**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

公共下水道に接続できる区域が拡大し、接続利用しています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
下水道普及率	%	65.2	68.0

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
手賀沼流域関連公共下水道事業	市内の北部、西部、中心部の下水道を担い、我孫子市の手賀沼終末処理場で汚水を処理する地区である。市街地の約7割が整備を完了し、残りの南初富、道野辺中央の整備を進める。
江戸川左岸流域関連公共下水道事業	市内の南部の下水道を担い、市川市の江戸川第二終末処理場で汚水を処理する地区である。平成25年度より事業に着手し、西道野辺、馬込沢の整備を進める。
印旛沼流域関連公共下水道事業	市内の鎌ヶ谷大仏駅を中心とした東部地区の下水道を担い、汚水の処理は、千葉市の花見川終末処理場で行う地区である。整備は、概ね完了している為、未接続世帯に対し、水洗化の普及啓発を行う。

**(2) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.21	公共下水道事業	1,086,100	553,900	532,200

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 社会の状況に即した計画の策定・見直し**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

公共下水道は、長期事業であり、将来を見通した適正な計画になっています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
全県域汚水適正処理構想	件	1	1
全体計画見直し等の実施数	件	—	1

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
地方公営企業法の一部適用	公営企業会計を導入し、経営の健全化と持続可能な下水道事業の構築を図っていく。
経営戦略の策定	経営戦略を策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※基本事業「公共下水道の充実」に掲げた「公共下水道事業」に含む  
 （下水道は、特別会計事業であり、すべての事業を「公共下水道事業」に含む）

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

基本事業（４） 公共下水道施設の維持管理

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

公共下水道施設がいつも良好な状態にあります。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
下水道管渠清掃延長	m	5,326	6,070

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
公共下水道施設の補修工事	公共下水道施設の機能維持に努めるため、経年劣化した箇所の補修を行う。
ストックマネジメント計画の策定	持続可能な下水道事業の実施を図るため、施設の状況を客観的に把握・評価し、中長期的な施設の状況を予測しながら、計画的かつ効率的に管理するための計画を策定する。
下水道管渠清掃委託	公共下水道施設の機能維持に努めるため、管内の堆積物の除去を行う他、劣化状況等を確認し、補修等の必要な箇所の調査を行う。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※基本事業「公共下水道の充実」に掲げた「公共下水道事業」に含む  
（下水道は、特別会計事業であり、すべての事業を「公共下水道事業」に含む）

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策2-2-5 環境衛生の充実⇒⇒「後期基本計画」P83

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民が、清潔な生活環境で暮らしています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
生活排水処理率	%	80.2	94.2

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汲取便所または浄化槽を適正に維持管理します。</li> <li>・家庭から出る水の汚れを減らします。</li> <li>・愛玩動物を適正に飼育します。</li> <li>・畜犬を飼育する際は登録を行い、年に1回狂犬病予防接種を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汲取便所または浄化槽を適正に維持管理します。</li> <li>・事業所から出る水の汚れを減らします。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・し尿を適正に収集します。また、処理施設に搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理します。</li> <li>・合併浄化槽の普及促進のため、補助制度についてPR活動を行います。</li> <li>・愛玩動物を適正に飼育するための「しつけ方教室」の開催など啓発活動を行います。</li> <li>・畜犬登録や狂犬病予防接種が受けられやすいよう動物病院との連携や集合注射などの充実を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併浄化槽の補助事業について正しく理解してもらうよう指導を行い、普及促進を図ります。</li> <li>・ペット業者などと連携を図り、ペット購入者に対する畜犬登録制度の普及や適性飼育の普及を図ります。</li> </ul>	

基本事業（1） 合併処理浄化槽の設置促進

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

合併処理浄化槽の設置が促進されるとともに、維持管理が適正になされ、公共用水域の水質が保全されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
し尿汲取利用者数	人	2,353	減少
単独処理浄化槽利用者数	人	19,420	減少

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
単独処理浄化槽の転換促進	単独処理浄化槽を使用している人に合併処理浄化槽への転換を働きかける。
汲取便所の転換促進	汲取便所を使用している人に合併処理浄化槽への転換を働きかける。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） し尿、浄化槽汚泥の適正処理**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

し尿・浄化槽汚泥が適正処理されています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
し尿、浄化槽汚泥処理率	%	100	100

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
し尿処理場の維持管理	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合アクアセンターあじさいの機能を維持し、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。
浄化槽保守点検の徹底	浄化槽法に定められた保守点検を徹底し、浄化槽の機能を維持する。

**(2) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 愛玩動物の適正な飼育**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

畜犬登録や狂犬病予防注射が適正に行われるなど、愛玩動物の飼い犬が生活環境に害を及ぼさない飼育をしています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
狂犬病予防注射接種率	%	72.9	100

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
畜犬登録及び狂犬病予防注射の充実	狂犬病予防法による登録及び年1回の狂犬病予防注射の接種義務により、登録数と注射実施率の向上のため、市内数ヶ所で集合注射を行う。
愛玩動物の適正飼育	犬のしつけ方教室等の開催など適正飼育の啓発を行う。
幼少時期からの動物愛護教育の充実	市内で開業している動物病院での狂犬病予防注射の接種率を向上させるために、病院側でも過去に利用した顧客の中で未接種者への接種勧奨を行う。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

基本事業（４） 斎場等の充実

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

斎場等の整備が進められています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
四市（鎌ヶ谷市、船橋市、八千代市、習志野市）複合事務組合斎場利用率	%	93.9	増加

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
第2 斎場建設事業	第2 斎場の建設を促進します。
馬込斎場大規模修繕事業	馬込斎場の大規模修繕を促進します。

（４）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 22	第2 斎場建設事業	180,117	180,117	0
P. 22	馬込斎場大規模修繕事業	64,175	0	64,175

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策2-3-1 交通安全の推進⇒⇒「後期基本計画」P85

■■施策のねらい(めざす姿)■■

子どもや高齢者、障がい者を含めたすべての人が安心して快適に通行できる交通環境になっています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
交通事故発生件数	件	255	349
人口千人当たりの交通事故死傷者数	人	2.6	3.8

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ルール・マナーを守ります。</li> <li>・交通安全運動、交通安全教室に参加します。</li> </ul> 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員に対して、交通安全教育を行います。</li> <li>・交通安全運動、啓発活動に参加します。</li> </ul> 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	警察など関係機関と連携し、交通安全運動街頭キャンペーンを実施します。
事業者	交通安全施設の整備及び交通安全教室の中で、啓発活動を定期的実施します。



基本事業(1) 交通安全意識の高揚

(1)-①基本事業のねらい(めざす姿)

誰もがルール・マナーを守り交通事故のない地域社会が形成されています。

(1)-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
交通安全運動及び交通安全教室参加者数	人	4,247	5,500

(1)-③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
交通安全教室の開催	警察など関係機関と連携し、小中学生を対象とした自転車安全教室、高齢者交通安全教室、保育園や幼稚園での交通安全教室を実施します。
放置自転車の防止	駅周辺における啓発活動を実施します。

(1)-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1)-⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 道路交通環境の充実**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

道路や交通安全施設などが整備・改良され、すべての人が安心して通行できています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
道路反射鏡整備・保全 個数	基	178	115
道路区画線整備・保全 距離	km	35	25
道路標識・交通看板整 備・保全個数	基	363	285

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
歩道等整備事業	生活道路や駅周辺など歩行者の安全な通行が課題となっている道路の安全対策を行う。
交通安全施設更新事業	経年劣化により老朽化している道路照明灯などの付け替えを行う。

**(2) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 23	歩道等整備事業	30,558	15,279	15,279
P. 23	交通安全施設更新事業	10,186	5,093	5,093

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 交通安全に関する調査・研究の推進**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

事故多発地点や道路診断の実施により、交通安全に関する情報が提供されています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
交通安全対策満足度	%	12.3	18.0

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
交通事故多発箇所共同 現地診断の実施	関係機関が共同で、交通事故が多く発生する箇所の原因を究明し、実施可能な対策を実施する。
交通安全に関するホー ムページの充実	交通安全に係る啓発・情報・情報発信を行い、交通事故減少に繋げる。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（４） 交通事故被害者への支援**

**（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

交通事故の被害者や家族の経済的・精神的不安が軽減されています。

**（４）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
千葉県交通災害共済加入率	%	3.0	4.7

**（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
千葉縣市町村交通災害共済の加入率の促進	共済制度に加入した会員が、交通事故により怪我などをした場合に見舞金を支払うもの。

**（４）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策2-3-2 防犯対策の促進⇒⇒「後期基本計画」P87

■■施策のねらい(めざす姿)■■

市民が、犯罪のない明るい地域社会で安心して暮らしています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
刑法犯認知件数	件	759	1,300
防犯パトロール隊団体数	団体	44	40

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人ひとりが防犯対策を講じます。</li> <li>防犯に関する講習会などへの参加や家庭教育を通じて、防犯意識を高めます。</li> <li>地域で行う防犯パトロールなど、防犯活動の強化に積極的に取り組みます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者において防犯対策を講じます。</li> <li>地域が行う防犯活動に、積極的に参加します。</li> <li>防犯に関する講習会などを通じて、従業員の防犯意識を高めます。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防犯パトロール隊の活動の充実を図るため、鎌ヶ谷市防犯協会を通じて、パトロールに必要な腕章や防犯ベストなどの資器材を隊員全員に配布します。</li> <li>自主防犯パトロール隊のパトロールが難しい深夜帯については、青色パトロール車により市がパトロールを行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所の防犯設備や従業員の防犯意識の向上を図るため、警察署及び鎌ヶ谷市防犯協会と連携し、防犯講和や犯罪発生状況のチラシの作成など広報活動を定期的に行います。</li> </ul>	

基本事業(1) 防犯施設・設備の充実

(1) -①基本事業のねらい(めざす姿)

防犯上配慮した施設整備や交番の誘致、防犯灯等の整備により、犯罪の起こりにくい環境になっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
防犯灯設置灯数	基	8,124	8,250

(1) -③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
防犯灯管理・LED化推進事業	市内すべての防犯灯をLED化し、自治会管理から市の管理に移行する。
防犯カメラの設置費補助	自主防犯活動団体が設置する防犯カメラの設置費用を補助する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 24	防犯灯管理・LED化推進事業	62,521	0	62,521

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 防犯活動の推進**

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

警察、防犯協会等と連携しながら、市民が日常的に防犯活動に参加しています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
防犯パトロール隊参加者数	人	1,297	1,624

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
夜間防犯パトロール事業	犯罪を防止するため、夜間におけるパトロールを実施する。

(2) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 24	夜間防犯パトロール事業	29,704	14,852	14,852

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 防犯知識の普及**

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

市民一人ひとりが防犯に関する知識を持っています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
防犯サテライト事業参加者数	人	961	360

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
防犯サテライト事業の促進	警察、防犯協会と協働で、6つのコミュニティエリアで防犯キャンペーンや防犯現地診断などの事業を実施する。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（４） 防犯体制の整備**

(4) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

市民の自主的な防犯活動が展開され、防犯体制が整備されています。

(4) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
防犯パトロール隊団体数	団体	44	40

(4) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
防犯パトロール隊の育成	防犯協会と連携し、防犯パトロール隊の育成を促進する。

(4) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(4) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策2-3-3 防災対策の強化⇒⇒「後期基本計画」P89

■■施策のねらい（めざす姿）■■

市民や企業、行政が一体となった防災活動が展開され、災害に強いまちになっています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
自主防災組織組織率	%	55	70
防災訓練参加延べ人数	人	11,523 (20年度か ら延べ)	10,300 (20年度か ら延べ)

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織等の地域コミュニティの形成に努めるとともに、防災活動に積極的に参加します。</li> <li>・「自分たちが住む地域は、自分たちが守る」という考えを基本に、災害時には自分たちで活動します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員や施設利用者の安全確保、経済活動の維持、地域住民への貢献等が図れるよう、防災活動を推進します。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災意識の更なる高揚を図るため、自主防災組織が未結成の地域に対し、自治会などを通じて働きかけを行います。</li> <li>・現在結成されている自主防災組織の代表者に対し、年1回以上の防災訓練の実施をお願いします。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、事業所等と災害協定を締結しているが、災害協定の充実を図るため新たな事業所と災害協定を締結します。</li> <li>・事業所に対し、災害時の備えとして従業員用の水や食糧など、最低3日分、推奨1週間分の避難物資の備蓄をお願いします。</li> </ul>	

**基本事業（１） 地域防災体制の充実**

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

地域における防災体制が充実しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
自主防災訓練実施組織数	団体	54	70

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
自主防災組織資器材整備事業	自主防災会へ防災資器材の交付を行い地域の防災体制を充実する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 25	自主防災組織資器材整備事業	1,181	1,181	0

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 防災意識の高揚**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民の防災意識が高まっています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
総合防災訓練参加者数	人	11,523 (20年度から延べ)	10,300 (20年度から延べ)

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
総合防災訓練の実施	市民参加型の防災訓練を実施する。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 応急活動・災害復旧体制の強化**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

万一の災害発生時の応急活動、災害復旧活動が円滑に行えるような体制が整っています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
防災備蓄倉庫設置箇所数	箇所	22	22
マンホールトイレ設置避難所数	箇所	1	5

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
防災行政無線デジタル化事業	国から出来るだけ早期にデジタル化に移行するよう推奨されており、アナログ波の使用ができなくなる前に、デジタル化へ移行し、通信システムの高度化及び確実な情報伝達手段を確保する。
マンホールトイレ整備事業	下水道供用開始区域内の一定規模以上の各避難所に10基ずつマンホールトイレを設置する。

**(3) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 25	防災行政無線デジタル化事業	159,785	6,900	152,885
P. 26	マンホールトイレ整備事業	16,800	8,400	8,400

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（４） 災害に強い都市構造づくり**

**(4) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

災害による被害を最小限にとどめるような都市の構造になっています。

**(4) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
公共施設耐震化率	%	100	100

**(4) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
防災施設の適切な維持管理	予防修繕を行うなど、適切な維持管理を行う。

**(4) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

※該当事務事業なし

**(4) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策 2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策 2-3-4 消防力の強化⇒⇒「後期基本計画」P91

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民の生命、財産等の被害を最小限に抑える体制を整えています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
普通救命講習受講者数	人	8,422	10,000
住宅用火災警報器普及率	%	71.9	65.0
人口1万人当たりの出火率	件	1.8	3.6

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習を受講します。</li> <li>・住宅用火災警報器を設置します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AEDを積極的に設置します。</li> <li>・事業所単位で普通救命講習を受講します。</li> <li>・消防用設備等を法令に基づき、適正に維持管理します。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命講習を毎月第3土曜日に実施し、ホームページや広報かまがやにて受講者を広く集めます。</li> <li>・住宅用火災警報器の更なる設置促進及び維持管理の必要性について、啓発や訪問調査を実施します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「AED設置協力標章交付事業所」及び「救急救命推進証交付事業所」については、AEDが設置されていることにより安全安心なまちづくりに貢献していることを市民に啓発していきます。</li> <li>・事業者の防火意識の向上のため、防火対象物の定期的な立入検査を実施します。</li> </ul>	

**基本事業（１） 消防体制の充実**

**（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

火事や災害時に、より早く消防活動が行われ、被害が最小限に抑えられる体制が整っています。

**（１）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
消防車両更新台数	台	9	18

**（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
消防車両更新事業	災害活動に必要不可欠な消防車両を計画的に更新し、災害対応に万全を期す。
消防団車両更新事業	災害活動に必要不可欠な消防団車両を計画的に更新し、災害対応に万全を期す。
消防団装備品整備事業	消防団で使用する装備品を計画的に更新・整備し、地域防災体制の充実強化を図る。
消防指令業務共同運用事業	消防指令業務の共同運用に伴い機器を更新する。
鎌ヶ谷消防署改修事業	施設の安全性と長寿命化を図るため、外壁改修などを行う。
消火栓改修事業	老朽化の著しい消火栓の改修を行う。

**（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 26	消防車両更新事業	24,051	8,522	15,529
P. 27	消防団車両更新事業	40,048	20,024	20,024
P. 27	消防団装備品整備事業	7,500	4,500	3,000
P. 28	消防指令業務共同運用事業	10,765	0	10,765
P. 28	鎌ヶ谷消防署改修事業	6,416	0	6,416
P. 29	消火栓改修事業	10,478	6,343	4,135

**（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 火災予防の推進**

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

市民や事業者の防火意識が高まり、火事が発生しにくいまちになっています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
住宅用火災警報器普及率	%	71.9	65.0
立入検査実施数	件	513	583

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
住宅用火災警報器の設置促進	住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理に係るリーフレットを作成し、市ホームページや広報かまがやに掲載し啓発する。
消防広場の開催	全国火災予防運動期間に市内の大型店舗を活用し、火災予防PRを行う。
消防訓練の実施	防火対象物や自主防災組織への消防訓練を実施し、火災予防と被害軽減を図る。
防火対象物の立入検査を実施	消防法令に基づき立入検査を行う。

(2) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 安心できる救急・救助体制づくり**

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

救命の向上を図るため、高規格救急自動車及び救助資機材の更新や救急救命士の養成が図られるとともに、市民自らが救急救命処置の知識・技術を身につけています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
普通救命講習受講者数	人	8,422	10,000

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
救命講習会の開催	市民、事業所が救命に必要な知識、技術を習得できるように救命講習会を開催する。
消防車両更新事業（救急・救助車両）	救命の向上を図るため、計画的に救急車及び救急資器材の更新を図る。
救急フェアの開催	市民参加型のイベントで救急業務及び救命手当への理解と救命講習会の参加を促す。
救急救命推進証交付事業所の拡充並びに更新	新規救急救命推進証交付事業所の拡充並びに既交付事業所に対し救命講習の再受講を促す。
千葉県救助大会へ参加	救助技術向上並びに救助隊員間の連携強化のため、千葉県救助大会へ参加する。

(3) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 29	消防車両更新事業（救急・救助車両）	41,906	0	41,906

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本目標3 「躍動感と魅力あふれる 交流拠点都市」をめざして  
 政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】  
 施策3-1-1 広域交流拠点の整備⇒⇒「後期基本計画」P93

■ ■ 施策のねらい（めざす姿） ■ ■

新鎌ヶ谷駅周辺地区は、交通結節点として、千葉県北西部地域を代表する躍動感と魅力ある交流拠点となっています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新鎌ヶ谷駅乗降客数 (1日あたり)	人	101,206	100,000
新鎌ヶ谷地区事業所数	件	253	270

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流拠点にふさわしい土地活用を目指します。</li> <li>コミュニティに参加します。</li> <li>ソフト面でのまちづくりへ参加します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト面でのまちづくりへ参加します。</li> <li>交流拠点にふさわしい景観形成への協力を行います。</li> <li>魅力のある事業展開を行います。</li> </ul>	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	地域住民間等の連携を図るための組織作りの支援を行います。	
事業者	魅力ある地域づくりのために、優れた景観への規制誘導を行います。	

基本事業（1） 広域交流拠点の基盤づくり

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

商業・業務・文化・娯楽等の集積が可能で、快適性・安全性・利便性に配慮した都市基盤が整備されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業の進捗率	%	50.0	99.0
新鎌ヶ谷地区事業所数	件	253	270

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	新鎌ヶ谷駅周辺の回遊性や利便性等を確保するため区内通路等の整備を行う。
東京10号線延伸新線跡地活用	区内通路等の用地を確保するために関係機関と協議を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 30	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	7,000	0	7,000

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 広域交流拠点機能の集積誘導

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

賑わいとふれあいのある魅力的な商業・業務施設が集積しています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新鎌ヶ谷地区事業所数	件	253	270

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
景観誘導	魅力ある地域づくりのために、優れた景観への規制誘導を行う。
まちづくり組織支援	まちづくり方策に基づく具体的施策を実施する組織の組織化の支援を行う。
イベントの支援	自立した地域の活性化・にぎわいづくりのための活動の支援を行う。
中街区における土地活用の検討	歩行者専用通路の整備も含め、中街区の一体的な土地活用に向けた検討、誘導を行う。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】

施策3-1-2 鉄道新線開業等に対応した新市街地の整備⇒⇒「後期基本計画」P95

■■施策のねらい(めざす姿)■■

東京10号線延伸新線の整備を確かなものとするため、中沢地区などの市街地の整備の検討が進められています。

※「東京10号線延伸新線促進検討委員会」は、事業の採算性が見通しが立たないこと等から実現の可能性がないと判断し「東京10号線延伸新線計画」の検討を終了し、同委員会を平成25年度に解散しました。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新市街地整備事業着手地区数	地区	—	—

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・市街地整備に向けた話し合いを行います。
事業者	・市街地整備等のまちづくりに協力をします。

■■「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	—
事業者	—

基本事業(1) 東京10号線延伸新線の事業化

(1) -①基本事業のねらい(めざす姿)

本八幡から新鎌ヶ谷を区間とする「東京10号線延伸新線」が事業化されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
東京10号線延伸新線の事業化の可否	—	—	—

※実施予定なし(検討終了)

(1) -③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

(1) -④多額の経費を要する事業等

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

基本事業(2) 新たな市街地の形成

(2) -①基本事業のねらい(めざす姿)

「東京10号線延伸新線」の新駅が予定されている中沢地区で、新たな市街地の形成に向けて動きが始まっています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新市街地整備事業着手地区数	地区	—	—

※実施予定なし(検討終了)

(2) -③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

(2) -④多額の経費を要する事業等

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】

施策3-1-3 質の高い既成市街地の整備⇒⇒「後期基本計画」P97

■■施策のねらい（めざす姿）■■

賑わいと魅力あふれる中心市街地が形成されています。  
自然と調和した質の高い居住環境が整備されています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
鎌ヶ谷市を住み良いと答えた市民割合（市民意識調査）	%	52.2 (25年度)	55.0
既成市街地整備事業着手地区数	地区	2 (初富・北初富)	2 (初富・北初富)

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働のまちづくりに積極的に参加します。</li> <li>まちづくりの方針への理解と協力をします。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの方針への理解と協力をします。</li> <li>規制誘導への理解と協力をします。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	協働のまちづくりを行うために、定期的に検討会を行うなど情報共有を行います。	
事業者	魅力ある地域づくりのために規制誘導をします。	

基本事業（1） 都市軸の整備

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

都市基盤が整備され、拠点にふさわしい賑わいが生まれています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
都市軸形成促進事業整備箇所数（着手）	箇所	1 (初富)	1 (初富)

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
都市軸形成促進事業（初富駅周辺整備）	新京成線連続立体交差事業の進捗と併せ、駅利用者の利便性、安全性を確保するために、駅前広場等の整備を行う。
新京成線連続立体交差事業に併せて行う関連事業	初富駅周辺整備の関連事業として、側道や駐輪場の供用方法等について協議を行う。

（1）-④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 30	都市軸形成促進事業	85,720	40,260	45,460

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 近隣商業拠点の整備**

**(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

身近な近隣商業業務が集積し、利便性が確保されています。

**(2) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
近隣商業拠点整備事業 整備箇所数	箇所	1 (北初富)	1 (北初富)

**(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
近隣商業拠点整備事業	整備構想の関係機関協議を踏まえ、実現可能な整備計画を立案する。

**(2) -④多額の経費を要する事業等**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 31	近隣商業拠点整備事業	4,000	1,000	3,000

**(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 住みよい周辺市街地の整備**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

インフラ（都市基盤）が整備され、良好な居住環境が確保されています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
鎌ヶ谷市を住み良いと 答えた市民割合（市民 意識調査）	%	52.2 (25年度)	55.0

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
次期都市計画マスター プラン策定事業	次期総合基本計画と整合のとれた都市計画マスタープランの策定を実施する。
市街地整備事業	土地区画整理事業をはじめとする市街地整備事業の導入を検討し、実施・誘導を図る。
景観の規制誘導	優れた景観への誘導策をまとめ、誘導を行う。
開発指導事務	都市計画法に基づく許認可行為、良好な住環境のための指導を行う。
都市計画基本図改訂事 業	平成20年度作成の都市計画基本図（白図）を最新データに更新する。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 31	次期都市計画マスタープラン 策定事業	10,200	0	10,200
P. 32	都市計画基本図改訂事業	12,400	12,400	0

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】

施策3-1-4 鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり⇒⇒「後期基本計画」P99

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

地域で話し合いがされ、愛着の持てる魅力あるまちの実現を目指しています。  
魅力あるまち並みや恵まれた自然を活かした景観づくりが進められています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市の景観への満足度 (市民意識調査)	%	25.3 (25年度)	33.0

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観形成に関する施策に協力します。</li> <li>・生垣、樹木の植樹、既存樹木の保全などの緑化に努めます。</li> <li>・良好なまち並みをつくるために自宅建物・工作物の意匠・形態等に配慮します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外広告物などの景観への配慮をします。</li> <li>・建築物・工作物の新築については、景観に配慮した意匠・形態とします。</li> <li>・事業地内の緑化に努めます。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画の景観形成基準や条例に伴う届出方法をホームページに掲載し市民へ周知・啓発をします。</li> <li>・都市計画に関する情報の提供を都市計画図や市ホームページで周知します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画の景観形成基準や条例に伴う届出方法をホームページに掲載し、窓口ではパンフレットを配布し周知・啓発をします。</li> <li>・都市計画に関する情報の提供を都市計画図や市ホームページで周知します。</li> </ul>	

基本事業（1） 魅力あふれるまち並みづくりのための仕組み・制度づくり

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

鎌ヶ谷市の魅力づくり・景観形成を進めるための仕組み・推進組織体制が整備されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
景観づくり地域活動団体認定数	団体	0.0	増加

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
景観まちづくり活動団体の認定	良好な景観の形成の推進を目的とする団体を認定し、良好な景観形成を推進する。
良好な景観の形成に寄与した団体、個人の表彰	良好な景観の形成に寄与した団体、個人の表彰により景観形成への気運を高める。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 魅力あふれるまち並みづくりのための計画づくり

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

鎌ヶ谷市の魅力づくりのための景観計画が策定されています。

平成25年度に「景観計画」を策定、平成26年度に「景観条例」を制定しました。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
景観計画、景観条例の策定	－	1 (26年度)	1

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

※景観計画を策定、景観条例を制定したため、該当事業なし

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 魅力あふれるまち並みづくりの実践

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

各分野で、鎌ヶ谷市の魅力を高める取り組みがなされています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
景観条例の適用数	件	48	増加

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
景観まちづくりの推進	景観まちづくりを推進するための市民活動の推進方を確立する。
景観計画の周知・啓発・誘導	ホームページ、ガイドラインを利用し市民・事業者へ取り組みの周知を図る。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-2 都市活動を支える交通網整備を進めます

施策3-2-1 安全でゆとりある道路の整備⇒「後期基本計画」P101

■■施策のねらい(めざす姿)■■

道路利用者が、安全でゆとりある道路を円滑に利用することができます。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
「道路の状況」不満足度(市民意識調査)	%	66.4 (25年度)	50.0
都市計画道路整備率	%	33.0	43.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通法規を遵守します。</li> <li>・道路愛護活動(清掃、道路美化、道路愛称名等)に参加します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通法規を遵守します。</li> <li>・道路美化運動に参加します。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の整備を推進し、適正な維持管理を行います。</li> <li>・道路の利便性を高めるために、道路案内標識を設置します。</li> <li>・交通法規を遵守していただくために、交通安全教室等のPR活動を展開します。</li> <li>・道路愛護活動に参加していただけるように、PR活動を展開し、道路愛護団体に対し報奨金を交付します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の整備を推進し、適正な維持管理を行います。</li> <li>・道路の利便性を高めるために、道路案内標識を設置します。</li> <li>・交通法規を遵守していただくために、交通安全教室等のPR活動を展開します。</li> <li>・道路美化活動に参加していただけるように、PR活動を展開し、道路愛護団体に対し報奨金を交付します。</li> </ul>	

**基本事業（１） 道路網の整備・促進**

**（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

幹線道路を整備することにより、道路利用者の安全性・利便性が向上し、交通渋滞が緩和されています。

**（１）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
主要市道整備延長	m	7,416	7,500
都市計画道路整備延長	m	12,169	14,469

**（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
主要市道整備事業	主要市道の道路改良と歩道の整備を行うとともに、傷んだ舗装の打ち換え等を行う。
交差点改良事業	ボトルネックとなっている交差点、形状が悪く安全性が低い交差点の改良を行う。
新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	新鎌ヶ谷地区とその西側に集中する交通を円滑にするために整備を行う。
通学路整備事業	通学路の歩道整備、道路整備を行う。
都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（中沢）	中沢地区の集中交通の円滑な処理のため、用地取得し道路整備を行う。
栗野バイパス線整備事業	交通混雑を緩和するため、県道船橋我孫子線から市道4号線までの幹線道路の整備を行う。
北千葉道路整備事業	鎌ヶ谷市から市川（外環）までの幹線道路の整備を行う。

**（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 33	主要市道整備事業	338,236	196,726	141,510
P. 34	交差点改良事業	102,382	40,500	61,882
P. 34	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	200,000	100,000	100,000
P. 35	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	2,000	1,000	1,000

**（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 生活道路の整備**

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

生活道路を整備することにより、地域住民の利便性と生活環境が向上しています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
一般市道整備延長	m	3,371	3,210

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
一般市道整備事業	一般市道の傷んだ舗装の打ち換え、道路改良、側溝の設置等を行う。
道路維持・補修事業	市道の補修や清掃等を行い、機能維持を図るもの。
私道整備事業	私道舗装整備要綱に基づき、申請のあった私道の補修を行う。

(2) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 35	一般市道整備事業	60,715	37,215	23,500
P. 36	道路維持・補修事業	252,531	132,255	120,276
P. 36	私道整備事業	6,000	3,000	3,000

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 安全で快適な道づくり**

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が安全で安心して移動できるよう、バリアフリー型の歩道整備や、ゆとりのある道路では、自転車の通行や、植樹帯による緑の創設を含めた道路整備を進めています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
歩道整備延長	m	42,214	47,281
街路樹整備延長	m	0	1,660

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
主要市道整備事業	主要市道の道路改良と歩道の整備を行うとともに、傷んだ舗装の打ち換え等を行う。
新鎌ヶ谷駅西側地区都市計画道路整備事業	新鎌ヶ谷地区とその西側に集中する交通を円滑にするために整備を行う。
都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（中沢）	中沢地区の集中交通の円滑な処理のため、用地取得し道路整備を行う。
都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	鎌ヶ谷市外郭幹線道路の用地取得、道路整備を行う。
栗野バイパス線整備事業	交通混雑を緩和するため、県道船橋我孫子線から市道4号線までの幹線道路の整備を行う。
北千葉道路整備事業	鎌ヶ谷市から市川（外環）までの幹線道路の整備を行う。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※基本事業「道路網の整備・促進」に記載

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-2 都市活動を支える交通網整備を進めます

施策3-2-2 利便性の高い公共交通体系の充実⇒⇒「後期基本計画」P103

■■施策のねらい（めざす姿）■■

環境に配慮した公共交通を利用して、目的地まで円滑に移動できています。  
連続立体交差事業等の進展により、交通渋滞が解消されています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
鉄道駅乗降客数（1日あたり）	人	196,230 (28年度)	200,000
市内バス利用者数（1日あたり）	人	1,232 (28年度)	2,000

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車の利用を控えて公共交通利用を高めます。</li> <li>・高架下利用として必要な施設について共に考えます。</li> <li>・駅・バス停の周辺の環境整備（美化等）に協力します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの向上、施設のバリアフリー化を推進します。</li> <li>・乗り継ぎ駅では、利用者が円滑に乗り継ぐことができるように、施設間の誘導案内等を行います。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利用が高まるよう、バス路線や時刻表等の検討を行います。</li> <li>・高架下利用として必要な施設について、共に考えていただくようPRをします。</li> <li>・駅・バス停周辺の環境整備（美化等）に協力していただけるようPRをします。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通会議を開催し、利用者のサービス向上を話し合います。</li> </ul>	

**基本事業（１） 公共交通網の充実**

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

鉄道、バス、タクシー、自転車など様々な交通機関が有機的に連携した誰もが利用しやすい総合的・効率的な交通体系が整備されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新京成線連続立体交差事業進捗率	%	78	94
公共交通利用者数	人	197,462 (28年度)	202,000

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
新京成線連続立体交差事業	新京成線を高架化して踏切を除却することで、市内の交通渋滞の緩和を図る。
コミュニティバス運行助成事業	高齢者等を中心とした移動手段の確保をする。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 37	新京成線連続立体交差事業	587,538	415,400	172,138
P. 37	コミュニティバス運行助成事業	94,480	47,340	47,140

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 交通環境の充実**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

駅利用者の利便性、安全の確保や鉄道とバス・タクシー等との円滑な連絡が図られています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
駅前広場整備数	箇所	3	5
市内駅エレベーター・エスカレーター設置率	%	100	100

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
高架下利用の推進	新京成線連続立体交差事業で高架化された高架下を利活用する方策を関係者と共に探る。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-3 活力ある産業を育成します

施策3-3-1 都市農業の育成⇒⇒「後期基本計画」P105

■ ■ 施策のねらい（めざす姿） ■ ■

農業と市民とのふれあいが強化し、農業が持続的に発展する中で農業生産が行われ、新鮮・安全・安心な食料が提供されています。また、農地の有する多面的機能からも本市の魅力づくりに貢献しています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
販売農家数	戸	295 (27年度)	330
経営耕地面積	a	35,322 (27年度)	37,500

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料・農業の大切さを認識し、その理解に努めます。</li> <li>・地元の農産物や農産物加工品の消費を心がけ、地産地消を応援します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新鮮・安全・安心な農産物を提供します。</li> <li>・農産物や農産物加工品の販売力強化に取り組みます。</li> <li>・農産物や農産物加工品のブランド化や産地化を進め、生産力の向上を図ります。</li> <li>・地元の農産物を活用した料理をPRするなど、地産地消をめざします。</li> </ul>	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業理解の契機として市民農園の貸付及び巡回指導や援農ボランティアの育成を行います。</li> <li>・”かまたん”が参加する各種イベント等において、新鮮・安全・安心な鎌ヶ谷の農作物をPRします。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興対策事業補助制度を継続実施します。</li> <li>・ブランド化にかかるロゴマークやキャッチフレーズの最大限の利用を推奨します。</li> <li>・バイオマス発電の本格実施に向けて、梨剪定枝の適正処理を働きかけます。</li> </ul>	

基本事業（1） 担い手の育成・販路の拡大

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

農業を安定して経営できる担い手が増えているとともに、流通・販売経路の拡大が図られています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
認定農業者数	人	53	50
新規就農者数	人	3	1
特定農業団体数	団体	0	1

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
認定農業者の認定推進	農業経営の発展をめざし、関係機関と協力し、農業者の生産技術の向上、経営の合理化を図る。
インターネット梨販売事業	将来、梨のインターネット販売に関し、農業団体等が自立した事業展開ができるよう一定期間支援する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.38	インターネット梨販売事業	9,280	4,632	4,648

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（２） 農地の保全**

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

効率的な農業ができる生産基盤が整っていると同時に、それらの適切な保全管理がなされています。同時に、農地の保全に関する国の政策動向を視野に入れながら、耕作放棄地の解消など、市独自の支援策が進められています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
耕作放棄地面積	ha	2.4	1.4
なし剪定枝リサイクル率	%	40.3	18.0

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
果樹剪定枝リサイクル事業	煙害などで焼却が困難となっている剪定枝のリサイクルを推進する。

(2) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 38	果樹剪定枝リサイクル事業	21,154	10,569	10,585

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 時代のニーズにあった農業生産**

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

消費者のニーズに対応した特色ある農業生産が行われ、産地化が進むとともに、環境に配慮した安全・安心の農産物づくりが行われています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
ブランド化認定数	団体	7	8

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
農産物ブランド化の推進	新鮮・安全・安心な農産物を提供できるように、鎌ヶ谷産農産物の高付加価値化の推進を図る。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 食と農の関係づくり

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

市民農園や体験農園、農業まつりなどを通して、生産者と消費者の相互理解が進み、援農や地産地消などの仕組みづくりが定着し、心の通い合う食と農の関係が築かれています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市民農園利用者数	人	153	171
援農ボランティア数	人	67	70

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民農園の利用促進	農業理解の契機として、市民農園の貸付を行う。
援農ボランティアの育成	農業のプロから栽培技術等を習得し、農業を楽しみながら理解することで、本市農業の発展に寄与する。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-3 活力ある産業を育成します

施策3-3-2 魅力ある商業の育成⇒⇒「後期基本計画」P107

■■施策のねらい(めざす姿)■■

消費者ニーズを的確にとらえ、より豊かな生活を提供する商業・サービス業が多数集積し、特に個性ある魅力的な個店には市外からも多くの消費者が訪れています。  
また、高齢者へのきめ細かな対応など、商店街が地域とのつながりをより深めています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
年間商品販売額	千万円	10,274 (28年度)	8,700
小売業における売り場面積	m <sup>2</sup>	84,355 (28年度)	90,400

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるよいお店を再発見し、買い物をして、多くの人にそのお店のよさを伝えます。</li> <li>・身近な商店を利用するとともに、商店街による各種イベントに参加します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の嗜好を敏感に察知して、魅力ある個店づくりに取り組むとともに、宅配サービスなど高齢者に配慮した事業にも取り組みます。</li> <li>・商店街を活用した交流イベントを行い、市民の参加を促進します。</li> <li>・環境を整備し、安心して買い物ができる商店街をつくります。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ上に掲載している鎌ヶ谷情報ナビ等を通し、市民の方に身近なお店情報を提供します。</li> <li>・商店街による各種イベントの周知・広報を行うほか、商工業振興補助金等による助成を通して、商店街による各種イベント開催を支援します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街による各種イベントの周知・広報を行います。</li> <li>・商工業振興補助金等による助成を通して、商店街による各種イベントの開催や高齢者のニーズに配慮した事業を支援します。</li> <li>・商店街の街路灯等の施設・環境整備等を行います。</li> </ul>	

基本事業(1) 個性と魅力ある個店・商店街の振興

(1)-①基本事業のねらい(めざす姿)

市民が気軽に訪れる「なじみの店」や「こだわりの店」、「隠れた名店」が増え、商店街も賑わっています。

(1)-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
商店数	店	477 (28年度)	630
商店会数	件	13	13

(1)-③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
商工業振興補助金による市内商工業の活性化支援	市内商工業の振興及び商店街の活性化を目的として、商工会・商店会等の現状及び課題を把握し、補助基準の見直しを適宜行い、商店会等に補助金を交付する。

(1)-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1)-⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 店舗情報の活用**

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

店の紹介や空き店舗の情報が提供され、買い物や企業に活用されています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
鎌ヶ谷情報ナビ登録件数	件	516	—
空き店舗情報公開件数	件	7	—

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
空き店舗活用事業	商店街の空き店舗を活用し、集客に役立つ施設及び店舗の開店など、賑わいの創出を図るために店舗改装費等を補助する。

(2) - ④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 39	空き店舗活用事業	10,000	5,000	5,000

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 観光の振興**

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

観光情報が効果的に発信され、市外から多くの方が訪れています。また、市の特産品も販路が開拓され、受注が拡大されています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
ふるさと産品認定件数	件	30	35
観光入込客数	万人	29	32

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
観光ビジョン推進事業	観光ビジョンに基づいた各観光施策の推進及び観光資源の磨き上げや情報発信を行う。
ふるさと産品協会補助金による活性化支援	市内産業振興及び観光振興を目的として、ふるさと産品協会に補助金を交付する。

(3) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 39	観光ビジョン推進事業	10,536	5,518	5,018

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策3-3 活力ある産業を育成します

施策3-3-3 活力ある工業の育成⇒⇒「後期基本計画」P109

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

企業が技術革新を進めるとともに、その技術や技能を継承発展させ、付加価値の高い製品を生み出し、市内外に販路を拡大させています。また、新たなニーズに対応したコミュニティビジネスやSOHOなどの立地も進むなど、これまでの産業の集積と新しい産業の進出による調和が生まれています。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
製造品出荷額	千万円	3,215	3,900
資金融資件数	件	21	40
無料職業紹介所の紹介による就職件数	件	97	120

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のニーズを把握し、自らの志向にあったビジネスを立ち上げ、また自らの目指す企業に就職します。</li> <li>現役を退いた市民も、企業・家庭で培った技術や知識を活かし、地域の人たちの役に立つビジネス等を通じて生きがいを持って働きます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の経営革新に努め、事業を発展させます。</li> <li>後継者を育成し、伝統・技術を継承していきます。</li> <li>新しいビジネス開発、商品開発に取り組みます。</li> <li>地元住民を雇用し、地元企業との取引機会を増やします。</li> <li>従業員の雇用安定を図るとともに、安全確保や健康管理に努めます。</li> </ul>	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援を目指す人に対して、コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業補助金や創業支援資金（市制度融資）による資金調達の支援や各種情報提供を行います。</li> <li>自らの目指す企業に就職でき、また、わーくプラザ鎌ヶ谷（無料職業紹介所）のさらなる利用促進に努めます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>市融資制度等の充実と周知を図ることで利用を促進し、経営基盤の安定化を支援します。</li> <li>商工業振興補助金等により、後継者の育成を支援します。</li> <li>ベンチャービジネス事業補助金等により、新しいビジネス開発・商品開発を支援します。</li> <li>わーくプラザ鎌ヶ谷において、地域における事業者の求人をサポートし、地元住民の雇用へつなげます。</li> <li>中小企業退職金共済制度への助成により、市内中小企業で働く従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図ります。</li> <li>生産性向上特別措置法の制定に併せて、支援措置を行うことで、中小企業等の生産性向上につなげます。</li> <li>事業承継の対応を行うことで、中小企業等の安定化を支援します。</li> </ul>	

**基本事業（１） 中小企業への支援**

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市内企業の経営基盤が強化され、経営が安定しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
預託金額	千万円	9	7
融資金額	千万円	15	50

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
中小企業資金融資の活用促進	預託金を金融機関に預託し、千葉県信用保証協会の信用保証により、金融機関の中小企業に対する事業資金の融資を円滑に行う。また、利子補給金を交付することにより、企業の経営基盤の強化、経営の安定を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 起業の促進**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

起業に関する支援制度が創出され、企業進出が増えています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新規起業家数	件	17	10
起業相談件数	件	17	20

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
生産性向上特別措置法関連事業	市内中小企業等の生産性向上の為、導入促進基本計画を策定。中小企業等が策定する先端設備等導入計画に基づいた設備投資につき、税制面及び金融面から中小企業等を支援する。
創業支援事業	市と民間事業者（地域の経済団体、金融機関等）が連携して創業支援に関する事業を実施し、地域の創業促進を図る。 創業支援事業については、国の認定を受けた事業計画に基づき実施する。 (H28. 1. 13認定済)
コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	商工業の振興及び発展等に寄与し、かつ、具体的な計画を有する事業を新たに市内で開始する個人及び事業者に対し、補助金を交付し、起業の促進を図る。

(2) -④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 40	創業支援事業	6,520	3,260	3,260
P. 40	コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	9,028	4,514	4,514

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 企業立地の促進と雇用の創出**

**(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

企業が立地、集積し、雇用の場が生まれています。

**(3) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
新たに立地した誘致企業数	件	0	8
新たに立地した誘致企業の雇用従業員数	人	0	160

**(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
企業誘致基本計画推進事業	鎌ヶ谷市企業誘致基本計画に基づき、企業誘致に係る各種取組みを行う。

**(3) -④多額の経費を要する事業等**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 41	企業誘致基本計画推進事業	11,812	2,975	8,837

**(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（４） 勤労者が働きやすい環境づくり**

**(4) -①基本事業のねらい（めざす姿）**

多くの企業では、働く意欲のある人々が能力を発揮できるように、安全で快適な労働環境になっています。

**(4) -②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
退職金共済加入者数	人	174	200

**(4) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
就職支援セミナー開催事業	結婚や出産を機に離職した女性や若年層から高齢者と幅広い年齢層の方々を対象にセミナーを開催し、雇用機会の確保を図る。
退職金共済掛金への補助による中小企業支援	自社で退職金制度を持つことが困難な中小企業に対し、退職金共済掛金の助成を行う。

**(4) -④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**(4) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策3-3 活力ある産業を育成します

施策3-3-4 安心できる消費生活の推進⇒⇒「後期基本計画」P111

■■施策のねらい（めざす姿）■■

消費者が安心して買い物をすることができています。  
また、市民一人ひとりが環境と調和した消費行動を実践しています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
消費生活相談件数	件	559	300

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・消費に関する正しい知識を身に付けます。	
事業者	・不当表示や誇大広告をせず、消費者に対する適正なサービスを提供します。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報やホームページ、センターだよりを活用し消費に関する情報を提供します。</li> <li>・消費生活センターへの相談状況に合わせ、センターの相談体制を随時見直し、状況に合わせたセンター運営を行っていきます。</li> <li>・市民（消費者）が消費に関する正しい知識を身に付けるとともに、生活の中にある消費の問題を身近に感じ、自身で警戒心をもつことで、被害を未然に防ぐため講座等の開催を行います。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用品品質表示法、消費生活用品製品安全法、電気用品安全法、ガス事業に基づいた市内の小売店の立入調査及び計量法に基づいた検査等の中で、継続した監視・指導を行います。</li> <li>・市広報やホームページにて消費に関する情報を提供します。</li> </ul>	

基本事業（1）消費活動への支援

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

消費者意識が向上し、市民が消費に関する正しい知識を身に付け、被害に遭わないようにしています。また、環境と調和した消費行動をとっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
くらしの講座参加者数	人	314	840
出前講座開催回数	回	11	9

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
くらしの講座	市民が消費者として自立し、消費者被害を未然に防止するため消費生活に関する知識や情報等の提供を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 消費生活相談の充実

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

消費者トラブルやクレームに対して相談できる体制が充実しています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
消費生活相談件数	件	559	300

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
専門の相談員による消費生活相談の充実	複雑化・多様化した消費生活に関する疑問やトラブルに対し、専門の相談員による相談窓口を充実させる。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

計画の実現のために

政策4-1 計画の実現のために

施策4-1-1 地方分権と市民参加の推進⇒⇒「後期基本計画」P113

■■施策のねらい(めざす姿)■■

市民と行政が情報を共有し、共通の目標に向かってお互いの責任を自覚し、役割を分担しながら自らの選択と責任で協働のまちづくりをしています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市政に関する情報を得られている市民割合 (市民意識調査)	%	38.2 (25年度)	50.0
過去1年間に地域活動をした市民割合 (市民意識調査)	%	61.2 (25年度)	68.0
市民の意見や要望が市政に反映されていると 思う市民割合 (市民意識調査)	%	26.0 (25年度)	50.0
市政への参加の機会が進んだと思う市民割合 (市民意識調査)	%	12.2 (25年度)	33.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人ひとりが「自分たちのまち」という意識を持ち、まちづくりに関する知識を習得します。</li> <li>まちづくりに積極的に参加します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を共有し、連携してまちづくりに参加します。</li> </ul>	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報かまがや、市ホームページ等でまちづくりに関する情報を提供します。</li> <li>市民自らがまちづくりに参加できるよう、市民同士の交流を図るとともに、相談や場の提供などを行います。</li> <li>市主催のまちづくり活動に、できる限り市民参加の機会を設けます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者に対しても様々な方法により、まちづくりに関する周知を行い、情報共有を図ります。</li> <li>市主催のまちづくり活動に、できる限り事業者との連携の機会を設けます。</li> </ul>	

**基本事業（１） 地方分権に対応した体制整備**

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

地方分権に対応できる市政運営体制が整備されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
地方分権戦略プラン実現率	%	75.0	87.5

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
行政評価の推進	政策等を事前・事後にチェックし、不断の見直しをしながら常に最適な行財政運営を行う。
職員体制・組織の見直し	鎌ヶ谷市自らが考え、実行していくことができるよう、常に最適な職員体制・組織にする。
情報システムの強化	情報通信技術の活用により、市民に対する行政サービスの質的向上、簡素化等を実現する。
NPOの育成、活動支援	市民自らがまちづくりに参加できるよう、活動団体の育成、支援をする。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 市民参加の促進**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が、鎌ヶ谷市のまちづくりに参加しています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市内NPO法人数	法人	30	32
1回あたりパブリックコメント意見件数	件	3	32

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民活動推進センターの機能の充実	団体運営などに対する助言や相談を行う。また、ホームページやセンターだより等で、団体の活動状況や活動支援・助成情報などの提供を行う。
パブリックコメントの推進	市の重要な施策の意思決定の過程において、市民等から意見の提出を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行い、当該意見に対する市の考え方を公表する。
地域づくりコーディネーター養成に関する事業	地域課題の解決に向け、立場の異なる市民や市民活動団体などが力を合わせて取り組めるよう、橋渡しをする人材を育成する。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 市民と行政の適正な役割分担**

**（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

市民と行政とが共通の目標に向かって、それぞれの役割を果たしています。

**（３）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
過去1年間に地域活動に参加した市民割合（市民意識調査）	%	61.2 (25年度)	68.0
補助事業申請件数	件	3	10

※補助事業は、市民提案協働モデル事業と市民活動支援補助金を合計した数

**（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
市民活動応援補助事業の実施	「市民提案協働モデル事業」と「市民活動支援補助金」を一体化した、「市民活動応援補助金」により市民公益活動事業のさらなる推進を図る。

**（３）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（４） 市民との情報共有化の推進**

**（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

まちづくりにあたって必要な情報が、市民と行政とで共有されています。

**（４）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
審議会公開率	%	36 (28年度)	34
知りたい情報の提供・公開が進んだと思う市民割合（市民意識調査）	%	24 (25年度)	30
市ホームページ年間アクセス数	件	552,781	420,000

**（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
インターネット議会中継事業	インターネットを活用した議会中継（生放送、録画中継）を行う。
広報かまがやの発行	行政情報・イベント情報・市に関する諸手続きなどを掲載した広報紙を月2回発行し、新聞折込・ポスティング・公共施設などへの配置により情報提供を行う。
市ホームページの充実	行政情報・イベント情報・市に関する諸手続きなどについて、充実した情報提供を行う。
情報公開制度及び個人情報保護制度の適切な運用	市の保有する情報について、個人のプライバシーの保護を図りつつ、積極的な情報の提供に努める。
会議公開制度の充実	審議会等における審議等の状況について、会議を可能な限り公開することにより、市政に対する市民参加の促進等を図り、民主的で開かれた市政の発展に努める。

**（４）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

政策4-1 計画の実現のために

施策4-1-2 効率的で健全な行財政運営の推進⇒「後期基本計画」P115

■ ■ 施策のねらい（めざす姿） ■ ■

最少の経費で最大の効果を生み出す行政運営が行われています。  
年間の支出をその年の収入でまかなう財政運営が確立されています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
経常収支比率	%	94.9	95.0
市職員の市民への対応が良くなったと答えた市民割合（市民意識調査）	%	24.3 (25年度)	30.0
職員一人あたりの人口	人	155.9	160.3

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の統廃合に合わせ、市民ができることは自ら行います。</li> <li>・市の財政状況に関心を持ち、市政に参加します。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者ができることは自ら行います。</li> <li>・協働によるまちづくりを行います。</li> </ul>	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政評価の結果などについて、ホームページなどを用いて情報提供を行うとともに、市民ニーズの把握や情報提供を行い、市民との協働を促します。</li> <li>・財政状況について、概要や目標の達成状況について、広報やホームページなどを用いて、わかりやすい情報提供をしていきます。</li> </ul>	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度や民間委託の導入、イベントの実施方法等について検討を行い、民間事業者（団体）の活用を図ります。</li> <li>・行政評価の結果などについて、ホームページなどを用いて情報提供を行うとともに、事業者ニーズの把握や情報提供を行い、事業者との協働を促します。</li> </ul>	

基本事業（1） 行財政改革の推進

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

不断の行財政改革により、常に最適な行財政運営がなされています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
将来負担比率	%	28.2	50.0
実質公債費比率	%	1.2	5.0
経常収支比率	%	94.9	95.0
財政調整基金残高	億	22.2	18.0以上

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市税等の収入確保及び未収金の収入促進	歳入増の取組みとして、市税、国民健康保険料等の収納率向上のための取組みを行う。
手数料、使用料の見直し	受益者負担の考えから、公共施設の使用料など、適正化を図る。
民間委託等の推進	市の業務について、費用対効果や市民サービスの向上などを検証し、指定管理者制度の導入など、民間委託の推進を図る。
給与・手当・定員管理の適正化	定員適正化計画に基づき、政策課題や事務量に応じた職員数、適正な職員配置を行うとともに、時間外勤務の抑制などを行う。
新たな自主財源の確保	企業誘致の推進やデジタルサイネージの導入など、新たな自主財源の確保を図る。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 計画行政と健全な財政運営**

**（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

「鎌ヶ谷市総合基本計画」に基づいた計画的な行政運営がなされ、「持続可能な財政運営」が確立しています。

**（２）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
経常収支比率	%	94.9	95.0
「後期基本計画」目標達成率	%	51.1 (27年度)	100.0
財政調整基金残高	億	22.2	18.0以上

**（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
総合基本計画策定事業	現行の総合基本計画が32年度に終了することから、次期総合基本計画（基本構想・基本計画・実施計画）を策定する。
財政健全化計画に定める財政指標等の数値目標達成に向けた取り組み	経常収支比率、財政調整基金残高などの数値目標を達成するため、必要な財源確保策、歳出抑制策などを実施する。
後期基本計画第4次実施計画の推進	市のめざす姿を実現するため、実施計画に定める、各施策及び事務事業に取り組むとともに、その進行管理及び推進を図る。
持続可能な行財政運営の確立を目指した予算編成の実施	持続可能な行財政運営を継続するため、今後の財政見通し、国や社会情勢などを踏まえて予算編成方針を策定し、この方針に基づき予算案を策定する。

**（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 42	総合基本計画策定事業	13,402	13,402	0

**（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（３） 行政情報化の推進**

**（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

情報システムの利用により、業務効率が上がり、経費削減がなされています。

**（３）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
行政の簡素化や事務の 合理化が進んだと思う 市民割合（市民意識調 査）	%	16.1 (25年度)	24.0
職員数	人	714	687

**（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
第4次LGWAN接続対応	番号制度等の運用に必要なセキュリティや信頼性を確保し、安定したサービスを継続利用できるように整備を行う。
基幹系ネットワークリプレイス事業	庁内基幹系ネットワーク中継機器、配線等の再整備を行う。
オンライン業務システムの運用	オンライン業務システムを稼働するためのサーバー並びにパソコン等の機器を利用する。
庁内LANシステムの設置・運用	庁内LAN用パソコンを設置し、庁内情報システムやLGWANなどのシステムを利用する。
庁内LANに関する通信	市の本庁舎、出先施設などをLANで接続し、また官公庁・自治体とも通信する。

**（３）－④多額の経費を要する事業等**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P.42	基幹系ネットワークリプレイス事業	16,209	3,304	12,905

**（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

**基本事業（４） 組織・人事マネジメントの充実**

**（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

多様化・高度化する行政ニーズに対応できる職員・組織になっています。また、人事評価制度の活用により、業務目標の共有化が図られ、活力ある組織風土が醸成されています。

**（４）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
行政の簡素化や事務の 合理化が進んだと思う 市民割合（市民意識調 査）	%	16.1 (25年度)	24.0
研修受講率 (研修受講人数/職員 数)	%	174	160

**（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
人事評価制度の実施	全職員を対象に実施するとともに、職員個々の能力や実績を的確に給与等への処遇へ反映する。
定員管理の適正化	社会経済状況の変化等を踏まえ、定員管理の適正化を図る。
組織の見直し	市民サービスを維持し、効果的かつ効率的な行政を行うことができるよう最適な組織にする。
人材育成の推進	人事評価制度を実施するとともに、職員研修をさらに充実させるなど、総合的な人材育成を図る。
給与の適正化	人事院勧告及び千葉県人事委員会の勧告に基づき、市民の理解が得られるよう給与制度・運用・水準の適正化を図る。

**（４）－④多額の経費を要する事業等**

※該当事務事業なし

**（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※該当事務事業なし

**基本事業（５） 公正、確実な事務と市民サービスの向上**

**（５）－①基本事業のねらい（めざす姿）**

事務が、公正かつ確実に執行され、窓口等では、迅速で丁寧なサービスが行われています。

**（５）－②基本事業の成果目標値**

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
市職員の市民への対応が良くなったと答えた市民割合（市民意識調査）	%	24.3 (25年度)	30.0

**（５）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容**

事務事業名	内容
市庁舎改修等事業	市庁舎施設・設備等維持のための改修工事を行う。
旧第二学校給食センター他建物解体事業	家屋事後調査を実施するとともに、土地の利活用について検討する。
庁用車更新事業	老朽化した庁用車を毎年入れ替えを行い、更新する。
接遇研修の充実	市民の立場に立った接遇マナーへの理解を深め、行政サービスの向上を図る。
住民票等コンビニ交付導入事業	住民票等の証明書についてコンビニで交付可能なシステムを導入する。

**（５）－④多額の経費を要する事業等**

別冊	事務事業名	総事業費	31年度	32年度
P. 43	市庁舎改修等事業	137,357	12,320	125,037
P. 43	旧第二学校給食センター他建物解体事業	13,455	13,455	0
P. 44	庁用車更新事業	13,455	13,455	0
P. 44	住民票等コンビニ交付導入事業	29,177	19,679	9,498

**（５）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）**

※④で計上した事業以外なし

政策 4-1 計画の実現のために  
 施策 4-1-3 広域行政の推進⇒⇒「後期基本計画」P117

■■施策のねらい(めざす姿)■■

自治体間の広域的な連携により、行政が効率化し、市民の利便性や福祉が向上しています。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
共同処理事務数	件	5	増加
公共施設の共同利用数	件	0	増加
広域要望の実現度	件	0	増加

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・行政から発信される情報に関心を持ち、まちづくりに積極的に関わります。	
事業者	・情報を共有し、連携して広域行政のあり方について考えていきます。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	・日頃より他自治体等との連携を密にし、広域要望等に関する情報を発信していきます。 ・広域連携事業の利用促進に向けた情報提供を行います。	
事業者	・日頃より他自治体等との連携を密にし、時宜を得た情報提供を行います。 ・広域行政に関する他自治体との会議等において、積極的な情報発信・議論を行い、情報共有を深めていきます。	

基本事業(1) 広域行政体制の強化

(1) -①基本事業のねらい(めざす姿)

既に広域体制で実施している事業が、構成市の連携関係を維持強化しながら効果的かつ効率的に推進されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
共同処理事務数	件	5	増加

(1) -③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
ごみ及びし尿処理業務に関する環境衛生組合及び構成市との連携強化	環境衛生組合に職員を派遣し円滑な運営に資するとともに、議会、議会運営委員会、構成市との意見交換等を通じて連携強化を図る。
馬込斎場及び特別養護老人ホームの管理運営に関する四市複合事務組合及び構成市との連携強化	馬込斎場及び特別養護老人ホームの管理運営業務について、議会及び議会運営委員会等を通じて連携強化を図る。
消防通信指令業務の共同運用に関する維持及び連携強化	ちば北西部消防指令センターに必要な職員を派遣し円滑な運営に資するとともに、松戸市他5市消防指令事務協議会等を通じて連携強化を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

**基本事業（２） 近隣自治体との連携**

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

これまでの広域体制にとらわれない新たな広域連携により、行政の合理化・効率化・市民の利便性や福祉向上のための協議が具体的に行われています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
広域要望の実現度	件	0	増加
近隣自治体との連携事業数	件	4	増加

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
次期総合基本計画策定に伴う近隣自治体との連携業務の検証	近隣市との連携業務について、既存事務及び新規事業の検証を行い、次期総合基本計画に反映させる。
東葛広域行政連絡協議会を通じた近隣自治体との広域行政の検討、情報交換	東葛地域における公共施設の相互利用の検討等、広域行政推進事業に係る情報交換を行っていく。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

**基本事業（３） 合併及び政令指定都市に関する調査研究と情報提供**

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市町村合併及び政令指定都市に関して調査研究が行われ、必要な情報が共有されています。

※実施予定なし(検討終了)

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	実績値 (29年度)	目標値 (32年度)
合併及び政令指定都市に関する広報実施回数	—	—	—

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

(3) -④多額の経費を要する事業等

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

## 後期基本計画第4次実施計画(補正版)策定に係る市長方針

国の三位一体改革の影響や少子高齢化に伴う社会保障費の大幅な増加などにより本市は大変厳しい財政状況に直面しましたが、全庁を挙げて行財政改革に取り組んできた結果、市の財政状況は安定したものとなっています。

しかしながら、平成28年度決算の経常収支比率は94.8%と、前年度より3.6ポイント上昇するとともに、今後も続く社会保障費の増加や老朽化した公共施設の改修に伴う対応、市にとって必要不可欠な事業のために発行した地方債残高の償還である公債費の増加への対応などを勘案すると、引き続き徹底した行財政改革により、従来以上の歳入確保・歳出削減の取組みを行う必要があります。

今後とも、将来に向けて持続可能な行財政運営を確立するためには、行財政改革推進プランを着実に実行して財源確保を図り、限られた財源を今まで以上に選択と集中させ、本市の財政基盤に見合った運営を堅持していかねばなりません。

このような状況下、今回改定する平成31年度と32年度は、現行の総合基本計画における最後の2年間となります。後期基本計画における4つの重点政策の推進と成果目標値の達成を強く意識し、「子どもからお年寄りまでずっと笑顔でいられる街」を実現するため、以下に掲げる3つの街づくりについて、より効果的な事業展開を進めていきます。

### (1) 未来に向けてさらなる発展につなげる街づくり

未来に向けてさらなる発展につなげる街づくりでは、これまでも、新京成線連続立体交差事業による津田沼方面の高架化や都市計画道路の整備など、市民生活の利便性向上につながる都市基盤整備を行ってきました。

今後、市を一層発展させるための契機として、「北千葉道路」の早期事業化を目指し、国・県への要望活動や関係機関との調整等を継続的に行うとともに、国道464号栗野バイパス線の整備を促進します。

また、平成31年度には、新京成線が完全高架化予定であり、市内16か所の踏切撤去と併せて、初富駅・北初富駅の駅前広場や新鎌ヶ谷駅南北自由通路の整備、東京10号線延伸新線跡地の活用などを進めていきます。その他、都市計画道路についても引き続き整備を進めるとともに、市道の交差点改良事業も行っています。

### (2) すべての市民が暮らしやすさを実感できる街づくり

すべての市民が暮らしやすさを実感できる街に向けては、「子育て世代にやさしい街づくり」として、民間保育所の誘致や地域型保育事業の拡充により、平成27年度から4年連続で待機児童ゼロを達成し、市独自の子ども医療費の助

成対象の拡大も継続しています。引き続き、待機児童対策などに注力するとともに、放課後児童クラブの整備や東部地区への児童センターの設置についても進めていきます。

また、全小中学校へのエアコン設置が完了しましたが、今後は小中学校トイレの全面洋式化や施設の長寿命化に取り組むとともに、各学校にきらり先生をはじめ、ほほえみ先生、ALT、理科支援員、学校図書館司書などを継続的に配置し、学校教育の充実を図ります。さらに、将来を担う児童・生徒の健全な育成を図るための良好な教育環境を整備するとともに、各種パトロールの強化や通学路への防犯カメラの増設などを推進し、安心して子どもを産み育てることができる街づくりを目指していきます。

「高齢者が安心して暮らせる街づくり」の面では、老人憩の家の整備を始め、コミュニティ・バスききょう号の週7日運行、高齢者孤立対策見守り事業なども進めてきました。今後も、高齢者の地域活動への参加を支援し、在宅で医療や介護を受けられるような地域包括ケアシステムを推進するとともに特別養護老人ホームの増床に取り組むなど、高齢者が健康で生きがいをもち、不安のない生活を送れるような事業を進めていきます。

「地震・災害に強い街づくり」の面では、すべての小中学校を含めて、公共施設の耐震化率100%を達成しました。今後、地域の災害時拠点となる自治会集会所や避難所におけるマンホールトイレの整備を進めるとともに、台風やゲリラ豪雨などによる水害被害を防止するため、二和川のバイパス・拡幅工事も行っています。

さらに、市民サービスの向上を目指し、市役所でのパスポート発行や住民票のコンビニ交付にも取り組んでいます。

### **（3）産業が盛んで文化・スポーツ・緑を楽しめる街づくり**

産業が盛んで文化・スポーツ・緑を楽しめる街に向けては、これまでも、インターネット梨販売や観光ビジョンに基づく各種事業など、市の魅力を高める取り組みを行ってきました。

今後も、都市近郊型農業の発展に向けた鎌ヶ谷産農産物のブランド力強化に取り組むとともに、企業誘致を促進します。

また、きらり鎌ヶ谷市民会館を活用した市民の芸術文化活動を促進するとともに、「生涯スポーツ都市宣言」を具現化するため、北海道日本ハムファイターズとの連携強化や各種スポーツ施設の環境整備など、市民のスポーツ活動に寄与する事業を推進していきます。

さらに、市民と行政が一体となって緑豊かな環境を保全していくため、「緑の都市宣言」にもある「自然と調和した住みよいまち」を目指し、栗野地区公園の第2期整備区域やふれあいの森の整備などを進めるとともに、公園のトイレ整備や遊具の更新も行っています。